

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
4月29日	・小田急江ノ島線各駅にホームドアを設置するよう働きかけてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		まちづくり総務課
4月29日	・車いすを使っており、歩道が狭いところも多く、自転車のマナーが悪いため怖い思いをすることがある。 ・オークシティ〜市役所の東側の自転車と歩行者を分けた歩道はとても安心して利用できる、他の道路にも設置してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路整備課
4月29日	・新総合計画の人口推計は微増していくということだが、市の方針として増やしたいのか、どうなのかを明確にしたほうがよいと考える。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	計画で人口増を追求していくことはしていませんが、持続可能な都市であり続ける観点などから、少子高齢化の進展を可能な限り緩やかにできるよう、基本目標や施策の整理を行っています。	総合政策課
4月29日	・新総合計画の説明の最後に新しい技術の導入をしていくとあった。大和市のオープンデータは全然足りないと感じている。情報を増やし、取得しやすくしてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		総合政策課
4月29日	・大和市は素晴らしい取組をされていることが分かったが、市民に届いている情報は少ない。 ・もっと市の素晴らしい事業等を発信する、情報が市民に届く発信方法を工夫した方がよいと思う。 ・Xのフォロワーは約8500、今朝のXの投稿は「いいね」が約20で、これではもったいない。 ・今はInstagramで情報を得る人が多いので、活用してみてもどうか。活用にあたっては、ハッシュタグを多くするとよいと思う。 ・紙も必要かと思うが、若い世代には15秒から30秒くらいの動画で発信するのでもよいと思う。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	市では従来の紙媒体に加え、これまでX・YouTube・LINEを活用して幅広い年代層に対して情報発信を行ってきました。 頂いたご意見を参考に、ショート動画やInstagramの活用など、より効果的な情報発信の方法を検討していきます。	広報課
4月29日	・障がい者歯科診療所を大和市内に設置してほしい。大和市内には約100の診療所があるが、実際は治療していただけることは少なく、三次医療機関を紹介されている。 ・知り合いの車いすのかたも歯科診療を断られたケースがあるので考えてほしい。歯周病は認知症のリスクにもなるので、障がいのあるかたが、歯科に行くことのできる機会を増やすことができるよう手を打つべきである。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	障がいの種類や程度によって必要とされる配慮や治療体制は異なるため、その設備等が整い、必要に応じて最適の治療が提供できる2次医療機関、3次医療機関を紹介しています。2次医療機関、3次医療機関は、県や県内市町村と連携し設置・運営しており、市単独で設置する考えはありません。	障がい福祉課
4月29日	・障がいのある子どもの問題として、18歳問題というものがある。高校までは支援学校と放課後デイサービスと合わせて5時までは居場所があるが、高校を卒業すると居場所がなくなる。大学のような位置づけの場所、高校卒業後に障害がある子どもが通える場所をつくってほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	現在、市内の日中一時支援事業所は、4件登録されており、利用されています。また、その他の障がいのあるかたの居場所づくりやその設置・運営は、障害者総合支援法に基づく自立支援給付の対象にならないため、事業費の確保をはじめとした多くの課題があることから、他自治体の取り組みなどを参考に、引き続き検討していきます。	障がい福祉課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
4月29日	・ 小学校の 現場の先生の数が足りていない、人口がすごく増えている中で小学校が足りない、学区によっては片道5 0分かけて小学1年生が登下校している。 ・ 新しい学校を造るなど、今後の対応や考え方を聴かせてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの	教員不足の解消に向け、様々な方法で教員の確保に努めるとともに、働き方改革の推進などにより環境整備を図っていきます。	学校教育課
4月29日	・ 中学生の通学リュックが非常に重く7～8 k gあり、成長期の体幹に影響がある。置き勉を認めてもらうよう働きかけて対応してもらったが、勉強のために持ち帰ることもある。 ・ 夏場の水筒やタブレット P Cもあるので、荷物と重量が増える。 ・ 教科書を2冊ずつ配布するなど、何か対策をお願いしたいが、なかなか理解されない状況である。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
4月30日	・ 横浜市から大和市に転入して2 0年経過したが、もっと愛着を持ちたいと思っている。 ・ 新総合計画案について、目標の1「いつまでもみんなが元気でいられるまち」の説明の中で、人と人とのつながりが大切というお話があったが、市として、そうした場をどのようなものと捉えているか。	(4)既に対応済みのもの		総合政策課
4月30日	・ 少子高齢化や公共施設のランニングコストを考えると、もっと大和市にお金が入って来るようにした方がよいのではないかな。 ・ 「GREEN EXPO」により、市外からたくさん人が集まる可能性が高まっているので、市の収入になるような、有料スポットの設置や有料イベントを開催してはどうか。 ・ 現在は大和市内に映画館がないので、集客の見込める、市民が楽しめる民間施設も誘致してほしい。 ・ 市役所本庁舎がかなり老朽化しているので、交通利便性のよい場所、駅に近い場所に移転し、現在の場所を売却すれば収入にもなる。	(1)実現を目指し検討しているもの	【GREEN EXPOに関連して】 大和駅を中心とした街づくりや、賑わい創出につなげていくための具体的な取り組みについて、検討しています。	総合政策課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【イベントの開催について】 お祭りなどの催事は、伝統行事や文化を継承しつつ、地域の絆を深め、地域内外の人々の交流を促進することが目的の一つとされています。本市では、地域ごとに実行委員会によるイベントが開催されており、市としても、さまざまな支援を行いながら、地域のにぎわい創出に努めております。こうしたなかで、近隣市で行われる花博やその後のテーマパークの開業の予定は、より一層本市を活気づかせる機会と考えており、主催者と連携を密にとり、交流人口の増加、にぎわいづくりに努めていきます。	にぎわいイベント課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
4月30日	前ページから続く	(1)実現を目指し検討しているもの	【企業誘致について】 現在、税収増加や雇用拡大のため、新規立地に関する優遇措置である奨励金制度を整え、企業誘致に取り組んでいるところですが、更なる企業誘致の実現に向けて、奨励金制度の対象業種拡大や支援内容の充実などを検討し、様々な企業が本市に進出しやすい環境づくりに引き続き努めていきます。	産業活性課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【本庁舎について】 厳しい財政状況が続く中、市役所本庁舎については、安全性向上や有効活用の面から、老朽化した設備の改修を行い、施設の長寿命化を図っています。	管財課
		(1)実現を目指し検討しているもの	【市の収入増について】 現在、税収増加や雇用拡大のため、新規立地に関する優遇措置である奨励金制度を整え、企業誘致に取り組んでいるところですが、更なる企業誘致の実現に向けて、奨励金制度の対象業種拡大や支援内容の充実などを検討し、様々な企業が本市に進出しやすい環境づくりに引き続き努めていきます。	産業活性課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【映画館の誘致について】	産業活性課
4月30日	・ 今後の予算配分について、平均化して満遍なくではなく、市は何に重点を置くのかが重要である。 ・ 例えば、道路を整備するとか、防犯カメラや防犯灯をさらに増やしていくとか、具体的に明示していくべきである。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		総合政策課
4月30日	・ 横浜市は精神障害者保健福祉手帳1～3級を持っていると福祉特別乗車券を交付してもらえるので、大和市でも同じように対応してほしい。 ・ 働くことが難しく、引きこもりの状態であるが、移動費用の負担が軽減されると外出できるのでぜひお願いしたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	J Rをはじめ、各公共交通機関が障害者手帳をお持ちの方への減免制度を設けており、市としてもこれら制度の情報収集や周知に努めております。ご提案の福祉特別乗車券については、各公共交通機関が制度として設けるものと認識しており、機会をとらえて同手帳をお持ちのかたのご要望をお伝えしていきます。	障がい福祉課
4月30日	・ 藤沢市のように、自立支援医療(精神通院医療)の自己負担分を助成してほしい。	(5)市として対応困難、不可能なもの	自立支援医療制度は、医療を利用するかたの負担が過大にならないよう、所得に応じて1月あたりの負担上限額を設定し、全国一律に実施されています。精神障がいのあるかたの多くは医療受診が必須であり、その経済的負担も決して小さくないものと認識しておりますが、自己負担分の助成は、市の財政状況を考えると大変困難な状況です。	障がい福祉課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
4月30日	・健康都市大学の「市民でつくる健康講座」が終わったことが残念である。 ・１００人の講師に各回２５名程度の受講生が週に５回、年間で考えると非常に多くの参加があった事業で、外出機会の創出、人と人との交流などの点で完璧だった。 ・終了後、生き甲斐が無くなってしまって、同じような気持ちの人は多い。 ・新しい形で行うというアナウンスもあったが、今のところいつからどんな形でとは示されていないので、ぜひ早く、新しい形の事業をスタートさせてほしい。	(4)既に対応済みのもの	令和６年７月より、市民のかたが講師となって講座を行う「ここから マナ☆スタ」事業を開始しました。 「ここから マナ☆スタ」は新たな趣味の発見、生きがいや仲間づくりといった、生涯学習を始めるきっかけづくりを目的としています。また、講師が持つ知識や技術、経験等の地域への還元を促進し、人と人とのつながりを創出することも目的としています。	図書・学び交流課
4月30日	・市のことを知る機会が少ないと感じており、例えば、転入当初は厚木基地が大和市にあることも知らなかった。 ・厚木基地にネガティブな感情はなく、自分が住む市内にあるものとしてももっと知りたい。	(4)既に対応済みのもの		基地政策課
4月30日	・地域で一番問題となっているのはリサイクルステーションである。高齢化やルールを無視する者によって維持管理が難しくなっている。 ・解決には時間が掛かると思われるので、総合計画基本構想が10年という期間とするならば、リサイクルステーションの問題も実施計画に盛り込んで解消していったほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課
5月2日	・大和市も家庭用の耐震シェルターや防火シェルターの設置助成を検討していただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	シェルター設置の助成については、関係課と情報を共有し、今後の参考といたします。	危機管理課
5月2日	・大和市が災害時相互応援協定を結んでいる高岡市では、能登半島地震後の液状化被害が大きく、罹災証明の発行に時間が掛かっていたので、大和市が被災した場合は、迅速な罹災証明の発行に努めてほしい。	(3)令和７～８年度中に対応予定のもの	市では罹災証明書の発行が迅速にできるよう、令和７年度に建物被害認定調査から罹災証明書の発行までを一元管理できる被災者支援システムの導入を予定しています。	危機管理課
5月2日	・札の辻交差点から大辻橋東側の交差点に下る道路（中福田南庭線）について、歩道の自転車通行が禁止されており、車道を通行する自転車と車がギリギリの距離で危険である。 ・歩道の段差をなくして、街路樹や植栽帯をなくせばよいのではないか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路整備課
5月2日	・福田相模原線が整備の進展が見られないが、事業の今後について聞かせてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課 道路整備課
5月2日	・行政経営の方針の中で、以前のトップダウンから、ボトムアップ方式に転換するというのは大賛成である。 ・市長が職員と同じ位置で意見を聞きながら、行政経営をすることはとても大切であり、職員側も自覚を持って積極的に意見を伝えることを要望する。	(4)既に対応済みのもの		マーケティング課
5月2日	・つきみ野中学校の正門前、田園都市線沿いの道を通学時間帯に猛スピードで走行する車があり、つきみ野交番に相談したが対応できないと言われた。 ・市として何か対応をお願いしたい。	(3)令和７～８年度中に対応予定のもの	つきみ野中学校北西側から田園都市線沿いの道路に対して、「スピード落とせ」など注意喚起看板を設置する予定です。	市民生活あんぜん課
		(1)実現を目指し検討しているもの	現地を確認した上で、路面標示等の速度抑制対策を検討していきます。	道路整備課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月2日	・ 大和市も、こども家庭庁の「こどもまんなか」に賛同して「こどもまんなか社会」の実現を目指しているとのことだが、保護者目線の施策が多いように感じており、子ども目線で考えることも必要ではないか。 ・ 保育園に夜まで長時間預けられるというのは、保護者目線ではありがたいことであるが、子ども目線で考えると保護者との時間が少なくなっている。	(5)市として対応困難、不可能なもの	保育所は、各家庭の保育の必要性に応じ、家庭で保育ができない保護者に代わって保育を行う施設です。 また保育所は、保育を必要とする子どもの健全な心身の発達を図ることを目的とし、子どもの最善の利益を考慮して保育をするとともに、入所する子どもの保護者に対する支援を行う役割を担っています。保育は、保護者との連携を密にして行われています。	はいく課
5月2日	・ 不登校の子どもの居場所として引地台中学校の分校があるが、行き渋りで月に1日か2日程度の子どもは対象にならない。民間のフリースクールなども活用して、こういった子どもの居場所、選択肢が多くなることを望む。	(4)既に対応済みのもの	フリースクール等の民間の教育施設も不登校児童生徒にとって受け皿の一つになっていると考えています。教育委員会では、令和6年5月の県教育委員会からの通知を踏まえて、フリースクール等での学びの出席扱いについて適切な判断をするよう、各学校に対し周知しています。	青少年相談室
5月2日	・ 不登校を未然に防ぐため、お忙しい先生方の代わりに、子どもの発達について学んだ地域の方にお手伝いいただくと、先生方の負担軽減にもつながるし、子どもも安心して学校に通えるようになるのではないかと考える。 ・ 八王子市の学校サポーター制度をぜひ参考にさせていただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	不登校児童生徒対策のため、令和7年度より全小学校に不登校児童支援員を配置（中学校においてはすでに全校配置済み）した。支援員の業務には学習支援を含むため、教員免許所持を条件とし、その登録は随時受け付けています。	青少年相談室
5月7日	・ 大和市は地震による被害は少ないと思われるが、住宅密集地であるため火災による被害は心配。スタンドパイプが市内各地に配備される前は、消火器が市内で1000台ほど、南林間北自治会区域内に16台あったと記憶している。 ・ スタンドパイプを実際に扱ってみると簡単ではなく、その目的は延焼防止であることから、初期消火には消火器の方が適していると考える。スタンドパイプを維持管理していくよりも、全世帯に消火器を配布した方が火災防止につながるのではないか。 ・ 消火器は1本4000円～5000円なので全世帯に配布すると約5億円。購入費の1／2補助というやり方も含めて検討していただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	消火器は、軽量で持ち運びしやすく、家庭などさまざまな場所に設置できるため、主に初期段階の火災を消火するために使用されます。 一方、スタンドパイプは、消火栓に接続して放水するため、消火器よりも消火能力が優れています。狭い道路や木造住宅密集地など、消防車両が進入できない場所でも、消火栓を活用して有効な初期消火や延焼防止ができます。 今後も、皆さんのご意見を参考とさせていただき、検討していきます。	消防署管理課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月7日	・ 市全体としては人口が増えているという説明があったが、地域の活力という点ではいかがなものか。南林間地区も人口は増えているが、二条通商店街を見てみれば2／3はシャッターが閉まっている。現役世代の生活パターンを見てみると、月曜から金曜までは市外に働きに出ていて、土曜、日曜の休みの日は、座間のコストコやイオンモール、若い世代は南町田のグランベリーモールや海老名に買い物に行ってしまう。 ・ 大和市は人口の割に、都市計画の中で物を作ったり、物を売ったりするという機能が進展してなくて、近隣市の方が充実してきている。5 0 年ほど前の海老名は、このままでは農業も工業も衰退してしまう状況だったので、都市計画の中でまず何をしなければならぬか考えた時に、海老名市の人は市内で買い物をして生活できるまちを目指して出来たのがピナウォークで、あれが今の海老名市の基礎となっている。 ・ ピナウォークも今は古くなってしまったが、若い世代は西側のららぽーとのある開発エリアに集まっており、都市として健全に成長していこうとするためには、やっぱりそういう核となる機能が必要ではないか。そういう大和市を変えるような大きな計画を考えているのかどうか聞きたい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課 (関連課：産業活性課)
5月7日	・ 自治会員の高齢化が著しく、自分で情報を得られる方はよいのだが、地域の限られた狭い範囲でしか行動できなくなっている方が増えている。 ・ 若い時は自治会活動を手伝っていたが、高齢になり手伝いができないという理由で退会する方もいるので、市として自治会を維持できるように支援してほしい。 ・ 私は市外から転入してきたため、お祭りや運動会など、活動内容に疑問を持ちながら自治会活動を手伝っている部分もあった。そういったことに駆り出されるのが嫌だと思う人がいることも理解できるので、旧態依然としている部分を改革することも必要ではないか。	(1)実現を目指し検討しているもの	自治会を含めた地域コミュニティの負担を軽減すること、地域コミュニティ活動の魅力を向上させることの2 点に焦点を絞り、自治会と行政が足並みをそろえて改革を進めることを目指し、他市町村の事例研究のほか、庁内での協議・検討、自治会関係者との協議・検討を進めています。	つながり推進課
5月7日	・ コロナ禍で何もできなかった時に、月2 回ラジオ体操を始め、現在も継続して毎回4 0 ～5 0 人の参加がある。 ・ 市の奨励金（自治会活性化のためのラジオ体操事業奨励金）申請について 相談したところ、奨励金の交付要件の回数（年度内に3 0 回以上実施）に見合わずに対象とならなかった。 ・ 地域のつながりのためにやっている事業なので、交付要件の回数を緩和することを要望する。	(5)市として対応困難、不可能なもの	令和7 年度より、自治会に対する補助金を再編し、ラジオ体操奨励金は、自治会基本運営補助金に統合しました。 さまざまな書類提出などを求めることは自治会の負担であることを考慮し、ラジオ体操奨励金として計上していた補助金予算額を、使途を定めず自治会活動全般に活用いただく自治会基本運営補助金に組み入れました。 これにより、実施回数などによる制限なく、自治会の中で行われるラジオ体操も、間接的ですが自治会基本運営補助金で支援しています。	つながり推進課
5月7日	・ 南林間には核となる公共施設がないため寂しい地域になっている。 ・ 今後、新たな公共施設を設置する場合は、この街に住んでよかったと思えるような建物をつくってほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		総合政策課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月7日	・ 歴代の市長や他自治体の首長を見て思うのは、就任から間もない期間は、市民の意見を聴こうということで、こういった場が設けられているが、在任期間が長くなってくると残念ながらこういう場が無くなることが多い。 ・ 大衆とのパイプを太く保つためには、情報をもらうばかりではなく、情報を適切な時期に適切な方法で還流させることが大切である。 ・ タウンミーティングでどんな意見が出たのかがわかると、後に続く人も出てくるようになる。 ・ 近隣自治体には無いマーケティング課が出来たことで、市民に向けて情報の還流が生まれることを期待している。	(4)既に対応済みのもの	タウンミーティングで頂いた提案と、それに対する対応状況を市ホームページで公開していきます。	マーケティング課
5月7日	・ 予防接種について、接種は強制ではなく保護者の判断になるのだが、市から半ば強制のように言われると聞いているので、現場がどうなっているか確認してほしい。	(4)既に対応済みのもの	予防接種法に基づく定期予防接種については、接種義務ではありませんが、本人（保護者）の「努力義務」あるいは自治体からの「接種勧奨」の有無について、同法に定められています。市では、接種の強制とならないよう、同法に基づき、本人（保護者）への適切な周知に努めています。	医療健康課
5月7日	・ 市の資源回収について、リサイクルがどうなっているのか、リサイクル率や使い道を、市民にわかりやすく発信してもらいたい。その方が分別の啓発にもつながる。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課
5月7日	・ 学校給食について、WHOでもその危険性が指摘されている、マーガリンやトランス脂肪酸、ショートニングが含まれるパンを出すのは不安である。 ・ また、牛乳に関しても、日本人の腸に合わないと言われている中で、全員に出すということ、一方で廃棄もしているので、毎日出すことは疑問である。 ・ 市内の農家を応援する地産地消のオーガニック給食を推進してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	厚生労働省のホームページでは、トランス脂肪酸について「トランス脂肪酸の摂取量の水準が公衆衛生上懸念される国では規制している国もありますが、日本人のトランス脂肪酸の摂取量は、平均値で、総エネルギー摂取量の0.3%であることが分かっており、平成24年3月に食品安全委員会が取りまとめた食品健康影響評価において、通常の食生活では健康への影響は小さいと考えられています」と回答しています。また、本市の給食ではパンの提供は週1回程度と他市に比べ少ないため、現在のところ、変更する予定はありません。 文部科学省では、学校給食について「学校給食摂取基準」を定めており、給食により摂取すべきカロリーや栄養素について規定しています。牛乳を使用せず、同程度の価格で別食材により同程度の栄養素を摂取することは大変困難であることから、現在のところ、変更する予定はありません。 オーガニック食材は量の確保と価格の面で、学校給食への導入は難しい状況であることから、現在のところ導入する予定はありませんが、納入ルートや使用できるオーガニック食材について、今後も引き続き調査していきます。	保健給食課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月10日	・ 現在のルートは隅々までカバーしておらず、バス停が遠い人はけっこうな距離を歩くことになるので、見直しを検討してほしい。 ・ 光丘自治会の中で特に声があるのは、コミュニティバスを走らせてもらいたいということである。 ・ タクシー料金が高くなっており、駅から光丘まで800円ほどかかる。 ・ 高齢になり事故を防ぐために免許証を返納した人もおり、移動にタクシーを使わないといけないことも多い。 ・ 桜ヶ丘は走っているので、ぜひ光丘地区にもコミュニティバスを走らせてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
5月10日	・ 南大和相模原線の住友銀行、モスバーガーのある側と反対側の飲食店がある歩道は、信号を渡る歩行者が立ったら、その次の人が立つのが困難なような、右から来る人の道の妨げになる状態である。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課 道路整備課
5月10日	・ 大和駅周辺について、ユザワヤ周辺全体が暗く、高座渋谷、桜ヶ丘よりも交通の流れがよくないと感じている。 ・ 道の流れを変えたときに、なぜ荷下ろしをするところをカーブで2つずつ作ったのか疑問で、一方通行だから、その脇にみんな駐車している。 ・ 歩行者が柵の途中から抜けられないように並んでいる柵も非常に圧迫感がある。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路整備課
5月10日	・ 引地川周辺は公園や桜並木があって歩きやすいが、境川の相鉄から中原街道のまでの区間は歩道が狭い場所もあり危ない。 ・ 中部浄化センターの辺りも合わせて、もう少し歩きやすく自然を感じられるようにしてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
5月10日	・ 新しい総合計画について、誰でも書ける都合のいい文章だけ並べるのではなく、今の財政状況から、第一にこれを達成したいなど方向を示すべきである。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		総合政策課
5月10日	・ ツツジが咲く市役所前周りの道路は雑草が生い茂っているが、現在どうなっているのか。	(4)既に対応済みのもの	市役所周りの雑草については、計画的に除草委託を進めているほか、緊急対応が必要な場合には職員による簡易的な除草も行っています。	管財課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月10日	・ 児童クラブについて、私が働き始めた頃から預かり人数が増え、一部屋にぎゅうぎゅう詰め状態になっている。コロナで密にならないようにやってきたが、PTA多目的室や特別教室を利用している状況である。 ・ 放課後子ども教室や寺子屋もあるが、場所ごとにルールも違うため、子どもたちが安心安全に遊べず自由が減っているので、民間の児童クラブや施設があるとよいのではないか。育成費も上がっていないようなので再考し、充実した児童保育を実施してほしい。 ・ 家庭的保育が児童クラブの理想の形だが、今はそれができない。子どもたち一人ひとりに目がいかないことが不安。おやつをつまらせてしまったとか、すし詰め状態でクラブが大変だとか、大きな怪我や事故が2015年以降増えているとニュースを見た。保育園も増え、そのあと卒業した子たちが児童クラブにくるということを踏まえて改善してほしい。 ・ 支援員の仕事が大変かつ年配の方も多く、若い人が入ってこななくなっているため待遇を改善してほしい。 ・ 手当、金券手当が出ます、収入が140万超えます、国民健康保険に入ってくださいと言われた。社会保険に入ればいいが、扶養内でやっているの。そうじゃないところも納得いかない。人手不足なら若い人が入れる給与体制にしてほしい。 ・ 児童館も運営費でまかなっているし、会計年度任用職員にしてほしい。PC業務などできる人できない人もいる。それを考えると、固定で働く人とパートの人で考えていければと思う。	(1)実現を目指し検討しているもの	放課後児童クラブについては、今後も入会希望児童数の増加が見込まれるため、居室の確保や支援員等の人員確保に努めるとともに、保育の質の向上などを図り、安定した運営に努めていきます。	こども青少年みらい課
5月14日	・ 横浜市の瀬谷区で「GREEN EXPO」が開かれ、その後テーマパークも開かれる予定となっているが、現在、大和市にはホテル等が少なく、海老名市など近隣のほうに行ってしまうのではないかと懸念がある。 ・ 大和市としてどのように関与していくのか。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
5月14日	・ 現在の南のまちは魅力が薄く、北のまちは栄えていて人が集まりやすいと感じており、南のまちも栄えるよう力を入れてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
5月14日	・ これまで週に3回公園を老人会が借りることができていたが、子ども達が遊べなくなるから週に2回にしてほしいと言われたと聞いた。 ・ 子育てだけに力を入れず、高齢の人のグランドゴルフやゲートボールも近くの公園などでたくさんできるようにしてほしい。	(5)市として対応困難、不可能なもの	複数の利用団体があり、一般の利用に制限がかかるため、対応は困難です。	みどり公園課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月14日	・ 前市長のもと、トップダウンで上から抑えられた状況で、市の職員は長い間何も意見を言えずにやってきた。 ・ このような中、どのように大和市を改革していくのか。	(4)既に対応済みのもの	令和7年4月に人財マネジメント方針を策定し、職員がためらわず率直に意見を言える職場環境の構築を含め、職員が働きがいをもって、生き生きと働くことができる職場づくりを進めていきます。	人財課
		(4)既に対応済みのもの	令和7年4月から、みんながつながる健幸都市やまを実現するために組織改正を行いました。一人ひとりの職員が市民の視点に立って物事を考え、意見を提案できる風土づくりや、施策の検討が活発に行われる組織体制の構築をすすめています。	政策総務課
5月14日	・ 市外の人に聞いてみると大和市はどこにあるかも知らない人が多いが、自治体の中には、ふるさと納税で数億円稼いでいるところもあり、大和市も何か売りになるものを作る必要がある。	(4)既に対応済みのもの	ふるさと納税を積極的に募るため、返礼品数増に取り組んでおり、現在は市内農産物を使用した商品の開発に向けた調整を行っています。今後も委託事業者や関連部署と連携しながら新たな返礼品の開拓に努めていきます。	政策総務課
5月14日	・ コロナ前までは、卓球で上和田東児童館を使わせてもらっていたが、コロナが収束しても使わせてもらえなくなった。 ・ 午後は子どもが集まるので使えないのは分かるが、午前中の空いている時間は使いたい。	(5)市として対応困難、不可能なもの	大和市児童館条例第15条により、児童館の開館時間は正午から午後5時30分まで（土曜日は午前10時から午後5時30分まで）と規定されており、開館時間ではない時間に卓球を使用することはできません。また、同条例第3条により、児童館の利用者の範囲に該当しない場合は、開館時間においても使用できません。	こども青少年みらい課
5月14日	・ 上和田小学校の校庭には立派な芝生があるが、現在雑草がすごく、先生の働き方改革が叫ばれる中、先生方の大事な時間を奪っている。 ・ 芝生のお世話をしていた団体の方も高齢となり、後に続く人が出てこない状況で芝生の状況が悪くなっている。 ・ 教育委員会にも訴えているが、改善されていない状況であり、土日のグランドゴルフで利用した人たちが雑草をとってもまったく追いつかない。 ・ 地元の人も維持してほしいと思っているので、是非対応してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		教育総務課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月17日	・ 大和市はあまり知られておらず、近隣市と比べても地味だと思う。海老名のららぽーと、南町田のグランベリーパークなどと比べると、大和市は目玉になる施設や名物が知られていないと感じる。 ・ もっと大和市にあるよいところ、よいものをアピールしてはどうか。 ・ シリウスはとても素晴らしいが、市外に向けたアピールが足りていない。 ・ 骨董市には外国人のお客さんも多く、インバウンド向けのアピールがさらにできれば、もっと大きなイベントになる。 ・ 骨董市の会場となっているブロムナードは、イベント会場としてとてもよいスペースだと思うので、コンセプトが分かりづらかった「市民まつり」も、駅近のブロムナードを会場にすれば、更なる参加が見込めると思う。	(5)市として対応困難、不可能なもの	骨董市については、骨董市の実行委員会に情報提供をさせていただきま す。市としては、今後は、ＳＮＳなどの情報発信等でインバウンド向けの アピールを行い、支援していきます。 大和市民まつりは、実行委員会形式で運営しています。ご提案内容を実行 委員会に共有いたします。	にぎわいイベント課
		(4)既に対応済みのもの	シリウスには開館以来２,０００万人以上が来館されており、市内外の多 くのかたに認知されています。今後も施設の良好な管理運営に努めていき ます。 【参考】令和５年度来館者アンケート結果（シリウス） 来館者の割合 市内：６４.３％、市外：３４％	図書・学び交流課
		(4)既に対応済みのもの	特設サイト「大和発見ライブラリー」で市の目玉施設であるシリウスや 市の魅力を紹介しています。 また、市のYouTubeチャンネルでは、シリウスの紹介動画など、市内外 の方に、映像を通じて市の魅力をPRしています。 今後もより多くの方に大和市を知っていただけるよう、効果的なPR手 法の検討を行っていきます。 【参考】 ・ 大和発見ライブラリー URL：https://www.city.yamato.lg.jp/section/toshokan_jokamachi/ ・ 大和市YouTubeチャンネル URL： https://youtube.com/@yamatocityofficial?si=u1KOnZpP0M_qjPOb	広報課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月17日	・健康都市やまと総合計画や大和市スポーツ推進計画には、実際のスポーツ普及率、実施率、参加率をあげる具体的な成果が出るのがあまり書いていないように見受けける。 ・特に、働き盛りの世代、子育て世代のスポーツ参加率を上げることは、ものすごくハードルの高いことである。 ・興味を持つ人がとても多いバドミントンを例にすると、個人で始めようとしても場所を確保できない、地域のサークルに参加する、経験者に囲まれて初心者には挫折する、という状況に陥ってしまう。 ・個人で初心者向けのバドミントン講習を行っているが、個人で行うことの限界を感じている。 ・以前、市役所に相談に行ったら、スポーツ課を案内され、最終的にバドミントン協会を案内され、協会からは「募集しても集まらない」と言われた。 ・新総合計画の説明でボトムアップによる行政運営という話があったが、私のような個人が意見をした時に、具体化していくことは可能なのか。	(4)既に対応済みのもの	第3期大和市スポーツ推進計画では、「する」「みる」「ささえる」「つながる」4つの視点からスポーツの推進を図っています。 中でも「する」スポーツにおいては、多様なライフステージに合わせたスポーツ教室を実施する等、世代や性別を問わず参加しやすい機会を提供しており、スポーツの普及率や参加率の向上にも貢献できるよう取組を進めています。 また、スポーツの種目は多岐に渡っており、競技力にも個人差があることから、すべてのかたに納得いただける事業の展開は難しいと考えていますが、頂いたご意見を参考とし、今後もよりよいスポーツ環境を提供できるよう努めていきます。	スポーツ×ライフ課
5月17日	・厚木基地の滑走路から近い位置にあり、生活していくうえでの安全確保に関する情報提供を密に行ってほしい。 ・私の家の真上をヘリコプターが飛んでおり、先日の自衛隊ヘリコプター2機の墜落事故もあり、基地が存在する以上、事故の危険性は無くならない。 ・また、日本飛行機（厚木工場）ではオスプレイの分解整備をしており、国が安全性を説明していない状況で、整備後に飛行するのも危険である。	(1)実現を目指し検討しているもの		基地政策課
5月17日	・下水道使用料について、物価高が続く中で、なぜ値上げしたのか。 ・下水道使用料の改定に関するパブリックコメントは実施しないのか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	下水道事業は、独立採算の原則というものがあり、受益者が費用負担をすることとなっています。 しかし、本市では、これまで汚水処理費に対する下水道使用料の不足分を市税で補填しながら、段階的に下水道使用料の値上げを行っていたため、独立採算による経営ができていませんでした。 そのため、市の財政も厳しいことから令和7年4月に市税からの補填を解消することを目指した下水道使用料の改定を行いました。 独立採算のための下水道使用料の値上げ実施については、パブリックコメントになじまないものと考えますが、基本料金の仕組みの変更や資産維持費の導入については、パブリックコメントの実施を検討していきます。	下水道経営課
5月17日	・最近是不登校のお子さんが増えているので、学校の先を見据えて、幸せに暮らしていけるようにするための場と、そこに参加できるような仕組みを考えていただきたい。		「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」（文部科学省令和元年10月25日）にあるように「学校に登校する」という結果のみを目標にせず、社会的に自立することを目指すための支援を行っています。	青少年相談室

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月17日	・ 最近は不登校のお子さんが増えているので、学校の先を見据えて、幸せに暮らしていけるようにするための場と、そこに参加できるような仕組みを考えていただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	子どもにとって安心できる居場所づくりに関しては、さまざまな仕組みを用意できるよう、いただいたご意見を参考に検討していきます。	こども青少年みらい課
		(1)実現を目指し検討しているもの	大和市では、ひきこもりの状態にあるかたを「こもりびと」と呼び、令和2年度からこもりびとの居場所を運営しています。令和7年度は、この居場所を常設化し、こもりびと当事者やその家族がいつでも気兼ねなく来ることができる場の設置に向けて取組を進めます。	福祉総務課
5月18日	・ 若者を呼び込むということであれば、人口20万人を超える街なのに大学や専門学校が無いので誘致してはどうか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		総合政策課
5月18日	・ 振り込め詐欺防止対策の補助金を活用して電話機を購入した。 ・ 実際に使ってみて、非常に効果的だと感じており、将来的に市内の固定電話が100%振り込め詐欺防止対策電話機になることは可能か。	(1)実現を目指し検討しているもの	振り込め詐欺防止対策機能付き電話機等の購入費に対して補助を実施しています。	市民生活あんぜん課
5月18日	・ 定住した若者が子を生み育てることを促すなら、子育て世代への給付金や手当など子育て支援をさらに充実することも必要である。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		こども総務課
5月18日	・ 認知症の方とのコミュニケーションであるユマニチュードを市立病院や市民の方々に広めることを提案する。 ・ ユマニチュードは相手を思いやり優しさを伝えるコミュニケーションの方法で、通常のコミュニケーションでは認知症の方の心に届かないことも、ユマニチュードを用いると大きく変化する。 ・ 認知症の方々の人権を守り、看護や介護の方々の負担の軽減、モチベーションの向上をはかれる。 ・ 以前、大和市内でもユマニチュードに関する講演会があったが、ユマニチュードは1回では学びきれず、実践と学びを何度も繰り返しながら身に付くものである。 ・ 個人で学ぶには費用負担も大きいので、市として講習会やその後のフォローアップを支援してもらいたい。 ・ 福岡市は市の事業にユマニチュードを取り入れており、今年の日本ユマニチュード学会で福岡市長が講演するほど力を入れている。 ・ 自治体の取組としてぜひ参考にしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	認知症ケアの手法には、多様な選択肢があることから、市としては、介護者や支援者が、認知症の進行の程度や症状に合わせて、最適な手法を選ぶことができるよう情報提供に努めています。 現在のところ、ユマニチュードに関する実践的な市民向け講習や、既存の講座への導入については予定していませんが、認知症介護の相談で来庁される市民や、認知症カフェ等に参加される介護者に対し、他のケア手法と併せて、関連書籍の展示やウェブサイト等を案内しております。	人生100年推進課
5月18日	・ 2025年問題について、運送業界も大きな影響を受けると予測されているが、大和市として運送業界に対して何か対応は考えているか。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
		(4)既に対応済みのもの	運送業界に限らず、経済活動を支える労働力不足が社会問題化する中、本市では、国等が実施する省力化や生産性向上に関する補助金等の周知に努めるとともに、経験豊富な中小企業診断士がさまざまな経営課題に対して相談に応じる「創業・経営なんでも相談」を開催するなど、幅広い支援を実施しています。	産業活性課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月18日	・ 地域包括支援センターでは、手摺の設置や段差の解消などの助言はできても、住宅の構造も含めた環境整備に関する助言はできないので、建築、介護、医療、理学療法など様々な観点から総合的な住環境について相談できる窓口を各包括に設置することを提案する。 ・ 要介護になってから住環境を整えるのは容易ではなく、元気なうちに終活を視野に入れた住環境を見直すと、生活を管理しやすくなりＱＯＬも向上する。 ・ 実体験として、介護ベッドを入れようとしても部屋に入れられず、そこから部屋を整えるのは大きな負担であり、介護ベッドの搬入を想定した環境整備ができていることが望ましい。 ・ 福祉住宅相談窓口が機能するようになれば、福祉住環境コーディネーター（１９９９年（平成１１年）に認定が開始された国家資格）など新たな雇用も生まれるのではないかと考える。 ・ 大きな話になるが、終活が出来ていない住宅は、お亡くなりになった後、片付けができず放置されることも多く、空き家問題の解消や、介護保険料の削減にもつながると考えている。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	地域包括支援センターの業務は、総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメント等介護保険法で規定されています。 本市では、高齢者や障がい者の皆様からの住宅相談に応じる「住まい探し相談会」を毎月開催しています。 必要に応じて、関係部署と連携を取りながら適切に対応していきます。	人生100年推進課
5月18日	・ 厚木基地の航空機騒音を無くしてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		基地政策課
5月18日	・ 再生可能エネルギーの補助金は単年度で終了するのか、継続していくのか。	(4)既に対応済みのもの	２０５０年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて、太陽光発電設備の導入をより一層進めていく必要があります。住宅用太陽光発電設備設置費への補助を今後も継続していきます。	環境総務課
5月18日	・ 近所の通学路がとても危ない。 ・ 雨の日は水溜まりもすごくて困る。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路整備課 道路管理課
5月18日	・ 学校に関して、先生の人数が圧倒的に足りていないため、支援級に関して、一人一人に目が行き届く状況ではなく、発達障害など専門的な知識に関する講習も足りていない。 ・ 神奈川県はインクルーシブ教育を掲げているが、世界的にはまだまだ遅れている。 ・ インクルーシブ教育は、「人間の多様性の尊重等を強化し、障がい者が精神的および身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障がいのある者と障がいのない者が共に学ぶ仕組み」とあるが、先生が足りないことで支援級と交流級の関わりも少ない。 ・ 理想は、様々な障がいがある子が、同じクラスで学ぶために、サポートする先生が潤沢に配置されていることである。	(4)既に対応済みのもの	インクルーシブ教育の推進に向け、人員配置を含めた仕組みづくりなど、さまざまな方法を検討するとともに、校内支援体制の整備を進めています。 教員や支援員に対し、発達障がいなどの知識や支援について理解を深めるための研修を行っています。	指導室

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月18日	・ 学校の正門について、簡易的なロックはかけられているが、施錠されていないため、子どもが簡単に出入れる状況がある。 ・ 横浜市や川崎市は防犯的な観点からも簡単に出入りできないよう徹底しているの で、大和市も施錠するなど対応してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市 政運営の参考とするもの	校門の施錠については、来校者への対応に課題があるため、実施は難し い状況です。	指導室
5月18日	・ 海老名市では、インクルーシブ教育のさらなる推進に向けた取組があるような で、大和市も前向きに推進してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの	海老名市は、県とフルインクルーシブ教育推進に向けて協定を締結してい ます。本市においても、そうした動きを注視しながら、検討を進めてい きます。	指導室
5月18日	・ 息子が筋ジストロフィーを患い、小中学校の支援級や市の関係部署の方に大変お 世話になった。大和市には特別支援学校は無いため、学校で受け入れて支援してくれ ており、専門職ではない先生方やヘルパーさんが勉強して苦勞されながら対応してく ださっている。 ・ 息子はこの春、無事高校に進学したが、高校受験に関して先生方やヘルパーさんに ノウハウが無く、個人情報保護の観点から、進学先の情報が共有されていない。 ・ 障がいによって、考慮しなければならないことは様々で、息子は車椅子を使っ ているので、エレベーターのある学校の情報が必要で、他にも、ヘルパー付き添い可能 な学校、通信制、定時制などの情報があると助かるのだが、親同士や知り合いなど横 の繋がりですべて学校を探し出しているのが現状である。 ・ 個人情報保護も大切だが、障がいのある子どもたちが、自分で進路を選べるよう に、先生方が横のつながりを持ち進学先の情報共有できるようになると良いと思う。 ・ 大和市の福祉は、高齢者に偏っていると感じるので、障がいのある子ども、若者 世代に対する部分、生き甲斐や進路など幸せに繋がる部分を意識していただきたい。	(4)既に対応済みのもの	公立小中学校への就学の際には、必要に応じて学校案内を行うなど、子 どもと保護者が学校環境などを把握できるように取り組んでいます。 高等学校及び特別支援学校高等部への進学については、県から各中学校 に学校に関する情報が提供されます。それを受けて、各中学校の進路担 当から保護者に対して、進路についての情報を適切な時期に発信し、生徒 の状況に応じ、個別面談などの相談を行っています。	指導室
		(4)既に対応済みのもの	18歳を迎えた障がい者のかたが、就労継続支援事業所などの障がい福 祉サービス事業所の利用を希望された場合においては、そのかたの障が い特性や、就学状況、家庭状況などを伺い、なるべく望む事業所へつな がるよう支援しています。なお、15～17歳のかたが、事情により障がい 福祉サービスの利用を希望された場合においては、大和綾瀬地域児童相 談所と連携した上で支援しています。	障がい福祉課
5月18日	・ 子どもは特に医食同源で、日頃からバランスの取れた食事をとることが大切であ り、そのために給食はとても重要である。やまとニュース№133に「学校給食の食材 費を補助」とあるが、将来的に給食費をどの程度まで補助する考えか。	(4)既に対応済みのもの	令和7年度においても、学校給食費の食材費に対する補助を実施していま す。今後については、物価高騰などさまざまな状況を注視しながら検討し ていきます。	保健給食課
5月19日	・ 広域避難場所や指定避難所が大和市の人口に比べて少ないと感じる。 ・ 遠方に避難場所があるのに車で避難できないとなると、高齢の方や障がいのある 方の避難が難しくなるので、もう少し避難場所が増やせないか。	(1)実現を目指し検討しているもの	市内の企業等と災害協定を締結するなど、民間施設を活用した避難者受 入れの調整を行っています。	危機管理課
5月19日	・ 町田市と大和市をつなぐ一本道（公所山谷線）は抜け道になっており、信号もな くスピードを出す車が多い。道路も傷んでいてトラックが通る際の振動もすごく、側 溝の蓋も割れてしまうので、何とかしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市 政運営の参考とするもの		まちづくり総務課 道路管理課
5月19日	・ つきみ野駅北側の駅舎に沿った歩道が狭く、通勤等で急いでいる人、ゆっくり歩 く人、色々な人がいるので、追い越したくても追い越せない。 ・ 不便なので、将来的には市が土地を確保して拡幅していただきたい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
5月19日	・ 公所地域には、子どもが球技で遊べるような広い遊び場がない。 ・ 以前、遊べた場所も住宅になり、公園も小さい公園しかないので、野球やサッカーなどボールを使った練習ができる場所を是非作ってほしい	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		みどり公園課
5月19日	・ コミュニティバスが通る地域も限られ、公所バイパスより北に住んでいる人が駅に行ったり、中央林間やオークシティに出かけるのが大変である。 ・ コミュニティバスのルートの再編などの際に、公所地域の事情も考慮して進めていただきたい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
5月19日	・ 今、一つの自治会ではどうにもならない自然災害が各地で発生している。 ・ 海老名市では各自治会をとりまとめる自治会を作り、そこで話したことを各自治会に下ろしており、それであれば対応もしやすくなると思うので、大和市でもそのような体制を進める検討をお願いしたい。 ・ 最近は定年が伸び、再雇用する企業が増えたことにより、現役時代が長く実質的には75歳まで働く人もおり、自治会のことをお願いできる人が少なくなっている。 ・ 高齢のご夫婦で片方が亡くなってしまうと、リサイクルステーションの清掃も大きな負担となるので、80歳以上で一人になった場合は、自治会費や当番は免除するなど、定年制のようなものを導入してはどうか。	(1)実現を目指し検討しているもの	本市におきましても、大和市自治会連絡協議会として、市内全自治会を15ブロックに分け、情報共有を図る体制があります。ブロックによって内容は異なりますが、地域課題の解決に取り組んでいただいています。 自治会費や役割の免除については、各自治会にご判断いただくことになりますが、社会環境の変化により、自治会を取り巻く環境に課題が多くなっていることは、市としても認識しております。 自治会を含む地域コミュニティの負担軽減、地域コミュニティ活動の魅力向上に向けて、自治会の皆様と連携し、課題解決に向けて取り組んでいます。	つながり推進課
5月19日	・ ふるさと納税の返礼品について、令和4年の調べで、大和市は集めた納税額が全国989位、県内20位、額として1億2千9百万、件数は3,152件ということであるが、南足柄はもっと少ない人口にもかかわらず県内2位の額を集めている。 ・ ふるさと納税は特産品がある自治体強いが、市町村が知恵を絞って寄付の金額が大きくなれば財政が豊かになり、様々な政策が可能になる。 ・ ふるさと納税について大和市はどう考えるか。	(4)既に対応済みのもの	ふるさと納税を積極的に募るため、返礼品数増に取り組んでおり、現在は市内農産物を使用した商品の開発に向けた調整を行っています。今後も委託事業者や関連部署と連携しながら新たな返礼品の開拓に努めていきます。	政策総務課
5月19日	・ タウンミーティングに若い人の参加が少ないのは残念。30年後も大和市で暮らす若い人に向けて、参加者の許可を得てライブ中継するなどが大事ではないか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		マーケティング課
5月19日	・ 健康寿命を延ばすため、20名ほどが集まる体操クラブで活動しているが、鶴間コミセンの一番広い部屋の予約が取れない。 ・ その理由として、市役所が予約を入れていることが多いからと聞いた。 ・ 週に2回しか予約できない場合もあり、もっと市民が予約を入れられるようにしてほしい。	(5)市として対応困難、不可能なもの	行政の予約は月に2～4件程度です。 なお優先予約は、自治会や地区社協など、行政以外の団体も可能であり、毎月一定程度の優先予約は生じています。	つながり推進課
6月8日	ペテルギウス前交差点近くの大和東3丁目北側交差点から大和東1丁目交差点までの道路（大和東3号）の歩道について、幅員が狭く住宅に接続するための傾斜によって非常に歩きにくい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路整備課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月8日	南大和相模原線の東名高速道路高架付近は植栽帯の雑草が伸び放題で、見通しが悪く接触事故も起きており、適切な維持管理を要望する。	(4)既に対応済みのもの	市道の草刈りは市内全域で順次行っていますが、事故等を誘発する危険な箇所については、優先的に実施していきます。	道路管理課
6月8日	城ヶ岡からすぐの北部浄化センターを囲む東側と南側の崖は土砂災害警戒区域であることから、土砂災害で浄化センターが使えなくなることがないように対応してほしい。	(4)既に対応済みのもの	当該法面については、崩落した際に施設への影響が出ないよう、安全性を確保しています。また、法面が正常な状態に保たれているか定期的に目視点検を行っており、今後も継続していきます。	水質管理センター
6月8日	広域避難場所になっている一ノ関・城ヶ岡は、柵で囲われた森林エリアが殆どで、農地も避難場所になっているようだが、入ってよいものなのか分かりにくいので、深見城跡を遺跡公園にして避難場所の確保と一体で整備してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【遺跡公園の整備について】	みどり公園課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【遺跡公園の整備について】	文化振興課
		(1)実現を目指し検討しているもの	【避難場所の確保について】 関係課と情報を共有し、検討していきます。	危機管理課
6月8日	公園のみんなのトイレについて、車椅子マークがあるため、車椅子以外は使えないと思い、使用を躊躇している高齢者をみかけるので、誰でも使えるというのがわかるような表示に改善してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	一般の方のご利用も可能です。	みどり公園課
6月8日	自治会区域内にある空き店舗について、市で借り上げて地域の居場所として活用してはどうか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		つながり推進課
6月8日	・上瀬谷通信施設跡地の「GREEN EXPO」開催に関連して、瀬谷区から中島橋を渡って島津に入って北へ向かう境川沿いの道（城山宮下線）が246号線への抜け道として使われるようになっており、最近では10tトラックも走行するようになり、歩行者が通れない場合もある。 ・40年ほど前に沿線の住民が土地を売って道路を拡幅しているが、島津自治会館付近のなど一部区間は非常に狭いので、歩行者の安全を確保するため、道路の拡幅について検討してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
6月8日	市道と農地の境界が曖昧な場所があり、市道部分を農地として使っている事例があったので、道路境界を含めて管理を徹底してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		道路管理課
6月8日	中央森林東側地区が市街化区域編入されて、商業施設ができるという話も出ており、人が集まる魅力ある街づくりを進め、市内経済を活性化させてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり推進課 （関連課：産業活性課）

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月8日	・島津地区は市街化調整区域であるが、近年の住宅開発で住民が増加している。 ・この先も住宅開発が続く状況であるため、公共下水道の整備をお願いする。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	市街化調整区域は、市街化の抑制地域で、公共下水道整備は原則として行っていない。また、下水道整備には、二つの課題があります。①将来、市街化区域に編入する際、土地区画整理事業などの面的な街づくりが想定され、管路の先行整備は移設が発生し、二重投資になる可能性があります。②市街化調整区域には都市計画税が賦課されていませんが、市街化区域では都市計画税を賦課し、財源の一部を下水道整備に充てています。都市計画税を納税している市街化区域住民との負担の均衡を図る必要があります。市街化調整区域で下水道事業を行うには、これらの課題を整理する必要があり、現時点での実施の目は立っていません。	下水道・河川施設課 (関連課：まちづくり計画課)
6月8日	・つながりを大切にしていくということだが、身近なつながりとして、自治会、PTA、子ども会などがあるが、現状では崩壊寸前というところまで来ていると感じている。 ・定年後、現役を退いた方、70歳前後の方が中心に取り組んでいたが、現在は、その年代の方が働いている状況もあり担い手がない。	(1)実現を目指し検討しているもの		つながり推進課
6月8日	・定年後、現役を退いた方、70歳前後の方が中心に取り組んでいたが、現在は、その年代の方が働いている状況もあり担い手がない。 ・リサイクルステーションを自治会で管理しているが、手伝っていただける人が減っている。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課
6月8日	中央2・3丁目自治会エリアの資源リサイクルステーションでアルミ缶の盗難が相次いでいる。	(4)既に対応済みのもの	タウンミーティング開催時には対応について自治会と協議していましたが、令和7年1月を最後にアルミ缶の持ち去り行為は市内で発生していません。	資源循環推進課
6月8日	スタンドパイプについて、防災倉庫がある公園の中に単体で置く場合の申請が煩雑なので、口頭で許可してほしい。	(5)市として対応困難、不可能なもの	条例により設置に関しては申請していただく必要があります。	みどり公園課
6月8日	将来的に自治会、地域の各団体、コミセンなど地域のつながり活動やコミュニティを取りまとめて、地域の負担軽減を図ってはどうか。	(1)実現を目指し検討しているもの	自治会、地域の各団体、コミセンを取りまとめた地域運営組織（RMO）という取組が全国的に広がっています。そのような手法も視野に入れながら、どのような手法が適切か、自治会と検討、協議を行っています。	つながり推進課
6月8日	厚木基地について、将来的に公園などになる可能性はあるのか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		基地政策課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月8日	・ 消防団に関して、どこの分団も団員不足が生じており、勧誘活動を行っているが、様々な事情があり協力を得られていない。 ・ 災害が平日に発生した場合、出動できる団員が少ない状況で、分団のエリアを超えて相互応援することとなっているが、あくまで対症療法に過ぎない。 ・ 1 2 ある分団を再編成して担当エリアを拡大する、団員の定足数を減らす、市外で仕事をしている団員もいるので平日の災害時には市内企業の自衛消防組織の協力を仰げるよう協定を結ぶなど、この先のことを考えた対応を検討していただきたい。	(1)実現を目指し検討しているもの	消防団は、市町村に設置される消防機関です。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。 近年減少している消防団員の確保は、全国的に問題となっており、本市についても課題の一つだと認識しています。 本市としても、消防団員の確保に努め、現役消防団員と協力し、これからも消防関係者から支援を頂き、団員増加につながるよう検討していきます。	警防課
6月8日	・ 市からの各種情報、広報やまと、やまとニュースなど、紙で配布されているが、市のウェブサイトには P D F データが公開されているので、デジタルにシフトして紙を減らし予算を削減すべきではないか。 ・ 回覧や配布を自治会の班長が担当しているが、それができないと退会する人も増えており、デジタルにシフトすれば自治会の回覧物も減るので、負担軽減につながると思う。	(4)既に対応済みのもの	やまとニュースの発行を終了したことに伴い、「市民の掲示板」、「サークル会員募集」をホームページ上のみに掲載することとしました。 今後も市公式LINEなどのデジタル媒体で市政情報を掲出していきます。 広報やまとについては、令和 7 年 5 月号から事業者による全戸配布へと変更し、自治会経由での配布は終了しました。	広報課
6月8日	・ 自治会の位置によって、地域の各団体のエリアが 2 重になっている場合があり、自治連の理事区に合わせるなど、各地域団体の区割りを見直す助助かる。 ・ 自治会長が兼任する地域団体の役職が多過ぎるので、報酬制度にしないと維持できないと考える。	(1)実現を目指し検討しているもの	市内の組織、団体によって対象となるエリアがそれぞれ異なっており、自治会の負担を増加したり、分かりにくい状況があることを把握しています。 地域活動をより効率的、効果的に実施し、地域の負担を軽減していくためには、エリアの線引きの見直しや組織の簡素化、統廃合が必要と考えており、他市町村の事例を参考にしながら、検討を行っています。	つながり推進課
6月9日	・ 自治会で管理するリサイクルステーションについて、駅に近い区域のため、飲食店などの事業者、ワンルームマンションが多く、深夜から明け方にかけてルールを無視して出すため対応ができず、B 資源（コンテナ、ネットで分類が必要な紙パック、紙製容器包装、空き缶・金物類（2品目）、空びん類（3種類）、ペットボトル、白色トレイ）を廃止した。 ・ 現在は拠点回収を利用しているのだが、高齢で一人暮らしの方は資源ではなく有料ごみとして出さざるを得ない。 ・ なんとか A 資源（新聞と折り込みチラシ・段ボール、雑誌・本・その他の紙、布類）とその他ブラについては続けているが、リサイクルステーションの近くに住んでいる方ばかりが管理するようになってしまい、結果として自治会を脱会する人も増えており、このままでは管理できなくなる。自治会の負担があまりにも大きい状況であるが、市として今後どのように考えているのか。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月9日	・ P F A S有機フッ素化合物について、引地川で高い数値が出ている。 ・ 厚木基地の泡消火剤が原因の可能性もあるので、使用を止めるなど対応をしてもらいたい	(4)既に対応済みのもの	令和5年度から引地川の調査回数を年2回に増やし、監視を強化しています。今後も県と協力し、監視を継続していきます。	環境・公害対策課
		(4)既に対応済みのもの		基地政策課
6月9日	・ 認可保育園利用に関して、認定証発行に関わる点数算定の『就学』要件に民間の高度ＩＴ人材育成講座も認めていただきたい。 ・ 現在の要件は、月64時間以上の就学は、①学校教育法第1条、②第124条、③第134条第1項、④職業能力開発促進法第16条第1項及び第2項に定めるものが対象となっている。 ・ 民間が行っている講座を就学の対象とすることについて、市はいく課に問い合わせたところ、前例がなく対象外であるとのことであった。 ・ 高度ＩＴ人材育成講座は経産省・厚労省の補助金対象となっており、国が補助金を交付している民間の講座等も就学の対象とする基準の改定を検討いただきたい。 ・ 市の「子育て王国」ウェブサイトには「子育ての始まりを、お子さんの誕生を望んだときから始まっていると捉え、価値観の多様性と社会環境の変化を踏まえながら、ライフステージに応じた切れ目のない支援に努めてきた」「大和市では国が興り発展していくように、これまでコツコツと施策を積み重ねてきました。」とあり、国がDX推進人材を育成することが目的の高度ＩＴ人材育成講座を対象としないのは矛盾しているのではないかと。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		はいく課
6月9日	2027年に上瀬谷通信施設跡地で「GREEN EXPO」が開催されるが、非常に近い場所で行われるので、大和市として何かやる予定はあるか。	(1)実現を目指し検討しているもの		総合政策課
6月9日	「のろっと」と「やまとんGO」について、乗り換えが必要な場合もあるので、運行を集約することはできないか。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
6月9日	東京都が国公立私立を問わず高校授業料を実質無償化したが、神奈川県はまだなので、所得制限で受けられない人の分を大和市が負担してはどうか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	国や県の施策、及び県内他自治体の動向を注視していきます。	学校教育課
6月9日	・ 児童クラブについて、閉鎖的でベテラン支援員を中心とした独特のルールが多いように感じているので、もっと風通しを良くしてもらいたい。 ・ 指導員を若者や外国人などが担えるようにしてはどうか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	子どもが、安全・安心に過ごせるよう今後も支援員に対して指導していきます。支援員は国の基準に基づき、任用しています。	こども青少年みらい課
6月9日	小学校の先生不足について、産休の代替がないため教務主任の先生が担任に入っていたり、専門知識がない先生が支援級を受け持っていたり、様々な影響が出ているので、先生不足を解消してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの	教員不足の解消に向け、さまざまな方法で教員の確保に努めるとともに、働き方改革の推進などにより環境整備を図っていきます。	学校教育課
6月9日	中学校部活動の地域移行について、外部から指導員を招くにあたり、子どもを預ける側としては、教育とは何かをわかった、しっかりとした人をお願いしたい。	(4)既に対応済みのもの		指導室

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月9日	学校で配付しているクロームブックについて、ゲームができる状況があるが、完全にブロックするのは難しいようで、海外では一人一台端末を止める事例もあると聞いている。国の方針なので、大和市だけでどうかなる問題ではないのは承知しているが、子どもの学習充実のために、少しでも対策を講じてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		教育研究所
6月9日	社会教育団体が学校施設を使用する場合、学校に使用状況を確認後、教育委員会に申請をしているが、スポーツの学校開放と同じ運用にするとという考え方もあるようなので、これまでの運用を続けてほしい。	(4)既に対応済みのもの		教育総務課
6月9日	・大和市に転入して一番驚いたことは、市民の健康維持を推進していることで、毎年、施設検診でがん検診を受けている。 ・大変ありがたいことではあるが、自己負担をなくし、子育て王国だけでなく、高齢者にも優しいまちにしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	がん検診の自己負担は、70歳以上のかたや市民税非課税世帯のかたなど一定の要件を満たす場合は免除となります。	医療健康課
6月9日	・所属する消防団第5分団は慢性的な定員不足が続いている。 ・転入転出の多い地域で自治会の加入率が低いため、自治会経由で募集しても不足解消できない状況が続いており、災害時に地域住民の生命財産を守ることができないのではないかと心配している。 ・定員や区割りを見直す、本職の消防職員を増強するなどを検討してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの	消防団は、市町村に設置される消防機関です。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担います。 近年減少している消防団員の確保は、全国的に問題となっており、本市についても課題の一つだと認識しています。 本市としても、消防団員の確保に勤め現役消防団員と協力し、これからも消防関係者の方から支援を頂き団員増加につながるよう検討していきます。	警防課
6月9日	新しくて規模の大きい公園は管理が行き届いているが、地域にある小規模の公園は遊具が古く、雑草も伸び放題の場所が多いので、遊具の更新、雑草の定期的な草刈りなど、適切な管理をお願いする。	(4)既に対応済みのもの	順次対応していきます。	みどり公園課
6月9日	・スポーツ施設やコミセンなど公共施設が充実しているが、利用方法がアナログなので、アプリで予約や支払いができるようDX化を推進してほしい。 ・情報インフラの整備が進めば、つながりも促進される。 ・DX化が遅れている自治体は他にもあるので、大和市は早い段階でDX化できれば若い世代、子どもたちへのアピールに繋がる。	(3)令和7～8年度中に対応予定のもの		デジタル戦略課
6月9日	・0歳児～2歳児の小規模保育園から、3歳児以降も通える保育園に転園する際に、第二子の産休期間と被った場合、産休明けに仕事に復帰しなければならない。 ・現在、10か月の子の育児中で、入れたところが小規模保育園だったため、タイミングによってはこの壁にぶつかる可能性がある。 ・同じくらいの子を持つママ友もよくこの話が出るので、制度を見直してもらえるとありがたい。	(4)既に対応済みのもの		ほいく課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月9日	・放課後児童クラブでお子様の命をお預かりしていることを肝に銘じながら、骨子案の目標3にもあった「子どもが将来に希望をもって生きるまち」、まさに子どもは未来であるという気持ちで支援員をさせていただいている。 ・支援員としても、先ほどのようなご意見と同意見で、支援員不足や使える教室の不足を解消していただけるよう、大和スタイルを期待している。	(1)実現を目指し検討しているもの	人材不足については求人強化し、教室の確保については学校と連携し、改善に努めています。	こども青少年みらい課
6月9日	生徒からの意見として、体育館に冷房を設置してほしいという声が多い。	(1)実現を目指し検討しているもの		教育総務課
6月9日	文化系の部活動でシリウスメインホールを利用する場合、利用料金の負担が大きいの で減免してほしい。	(4)既に対応済みのもの	やまと芸術文化ホールに係る受付期間外申請及び利用料金減免の対象事業の認定に関する要綱第4条に基づき対応しています。	文化振興課
6月9日	・こども食堂について、色々な形で広報されているが、ひとり親家庭に情報が行き渡っていないと感じている。 ・こども食堂の活動がもっと広く周知され、必要とする方が利用できるようになるようにしてほしい。	(3)令和7～8年度中に対応予定のもの	こども食堂を周知するために、市ホームページ、広報やまと、市政情報PRボード、チラシなどを活用しています。 令和7年度中に新たな周知方法として市内こども食堂の分布をわかりやすくした「こども食堂MAP」の作成を企画しています。	こども青少年みらい課
6月29日	精神障がい者の医療費は家計を圧迫するので、心身障害者医療費助成制度の対象範囲を 広げてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	本市の心身障害者医療費助成制度は、県の重度障害者医療費助成制度に準じて、重度に相当する方を対象としており、対象範囲の拡充は、市の財政状況を考えると大変困難な状況です。 本来、全ての国民が公平に医療を受けられるべきものと考えており、引き続き、国による全国一律の医療費助成制度の創設や県の補助対象拡大を要望してまいります。	障がい福祉課
6月29日	就労支援B型事業所の工賃の最低額を500円以上にしてほしい。	(5)市として対応困難、不可能なもの	就労支援B型事業所の平均工賃月額、法律により定まっているため、市が独自に決定することはできませんが、引き続き、障がい者優先調達法の活用などにより、工賃の増額に取り組んでまいります。	障がい福祉課
6月29日	精神障がいへの偏見を無くし、新しい健康都市総合計画には、心の健康についても盛り込んでほしい。	(4)既に対応済みのもの		総合政策課
6月29日	学校施設について、老朽化による損傷や機械的な不具合に対する修繕費は計上していないのか。	(4)既に対応済みのもの		教育総務課
6月29日	日本で暮らす外国人が増える中で、不法滞在者による犯罪に不安を覚えている。治安対策は何か考えているか。	(4)既に対応済みのもの	外国人による犯罪に限らず、市民が犯罪被害に遭わないようにするために、必要な防犯対策をとるよう周知啓発しています。	市民生活あんぜん課
6月29日	・先日、土曜日に急な仕事が入り、放課後児童クラブに預けようとしたら土曜日は就労証明書が必要とのことで預けられなかった。 ・このような場合に、子どもが一人でもいられる居場所、地域の人が見守ってくれる場所があるとよいと考えている。	(4)既に対応済みのもの	原則、学校が証明した授業時間をもとに利用予定を想定しています。個別の事情がある場合は、各児童クラブにご相談ください。土曜日については、児童の利用予定が無い場合、職員の出勤を予定していないことがあります。急な利用要請に最大限対応していますが、ご希望に添えないこともあります。	こども青少年みらい課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月29日	・学校によって異なるが、登下校の旗振り当番の負担が大きく、このためだけに仕事を休んでいる人もいる。 ・通勤途中にある別の学校では、地域の皆さんが旗振りしてくれており、大和市全体に広げられることを願っている。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
6月29日	・ボランティアとして活動してくださっていた方々が高齢化し、定年延長などで次の世代も担い手にはなれないという状況がある。市でも「やまとボランティア総合案内所」など、いろいろやっているが、担い手不足の解決には至っていない。 ・希望の光は、青少年健全育成イベントに協力してくれている中学校のボランティア部の生徒たちである。ボランティア部は一部の学校のみで、ボランティア部がないからイベントに参加できないという話もある。 ・ボランティア部が全学校に広がれば、将来的な担い手になるきっかけとしてもよいのではないと思う。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
6月29日	福田相模原線の道路改良事業に伴って、南林間四条通交差点に接続する部分の段差があり、車の通行、特に大きな車が通ると周辺に振動があるので、早期の整備完了・改善を要望する。	(1)実現を目指し検討しているもの		道路整備課
6月29日	近年の環境問題、温室効果ガス排出量の削減点と、心を豊かにする緑という視点で、緑あふれるまちづくりを進めてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		みどり公園課
6月29日	・道路整備に関することや、若者が住むまちにしたいということを、新しい総合計画は10年間の計画ということなので、概略でよいので計画の中でわかるように書いてあることが大事ではないか。 ・大和商工会議所と文教市民経済常任委員会との意見交換会の議事録に市議時代の市長が「大和市は航空法の制限があるので、高い建物が建てられない状況を、国に働きかけていきたい」と発言した記録があり、答弁でも「周辺の海老名市など容積率が高い中で、大和市は比較的、容積率が高いところがないので集約ができない」とある。 ・そういったことを、今後、国や県に働き掛けていくと発言されているので、新しい総合計画の中に概略でも書く必要があるのではないか。 ・東急南町田のまちづくりでは、駅周辺の開発に伴って、徒歩10分～15分圏内の戸建てに住む高齢者が駅近のマンションに移り、戸建てのエリアには子育て世代が住むということを行っている。 ・10年間の計画であれば、まちづくりの方向性を踏まえて書いていかないと、若者が住むというキーワードを達成することは難しいのではないか。 ・こういった内容を新総合計画に落とし込むことにより、人口増や住みやすい街づくりが達成できると考え意見させていただいた。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		総合政策課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月29日	・私道に砂利を入れてもらう場合、土地所有者や関係者全員の署名が入った同意書が必要であるが、高齢化により介護施設への入居、入院などで全員から同意書がもらえず困っている。 ・自治会長の署名を入れた要望書によって対応してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路整備課 道路管理課
6月29日	・自治会員が減っているので、資源リサイクルを戸別回収にしてほしい。 ・自治会費を払っていない人もリサイクルステーションを利用しているので、お金払って自治会に入っているのは不公平だと言われてしまう。 ・高齢になってリサイクルステーションまで出しにいくのが難しい人も増えているだけでなく、リサイクルステーションの管理する人も減って立ち番するために仕事を休んでいる人もおり、限界を感じている。 ・このままでは１０年と持たずに自治会が消滅してしまうので、役員や班長の仕事を減らすように努めているが思うようにいかない。まずは、一番の負担であるリサイクルステーションを廃止し、戸別回収にしてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課
6月29日	・自治会区域内に大きな公園がないため、夏祭りの会場探しに苦慮している。 ・保健福祉センターの駐車場や、鶴間コミセンの敷地など、公共施設の一部をお借りできるようにしていただけると大変助かる。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	庁舎は原則、貸出しをする施設ではありませんが、本庁舎では、だれでも広場が利用日時等を定めた上で一般のかたへも利用を認めている場所となります。	管財課
		(4)既に対応済みのもの	コミュニティセンターでは、地域のお祭りを実施しているケースはあり、現状でも実施は可能です。	つながり推進課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	保健福祉センターでは、休日も市民団体等のホール利用があり、年間を通して駐車場を利用しているため、地域活動への開放は困難な状況です。	福祉総務課
6月29日	野良猫の不妊去勢手術に係る助成金について、隣接する海老名市、綾瀬市、座間市、藤沢市、相模原市など神奈川県内で助成する自治体が増えているので、大和市でも助成することを検討してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		医療健康課
6月29日	資源リサイクルに関して、「プラごみ」と表現するが、貴重な“資源”であることを押し出さないとダメだ。	(4)既に対応済みのもの	「家庭の資源とごみの分け方出し方パンフレット」やホームページなど、市民への案内や広報等において、資源リサイクルに関して「プラごみ」と表現したことはありません。 ※８市連携市長会議で「海洋プラごみ」と表現していますが、海洋プラごみは家庭や事業所から資源リサイクル目的で排出されるものではないため、一般的に「容器包装プラ」や「製品プラスチック」といった資源や家庭ごみの区分とは異なります。	資源循環推進課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月30日	・南大和相模原線は相模原市と接続する重要な道路だが、中央林間内山地区の整備は進んでいない。 ・人口も大和市と相模原市を合わせると約100万人と多く、昔に比べると大きな車も増えているので、両市を行き来する場合、国道16号以外では小田急線沿いの狭い道しかないため不便である。南大和相模原線は、公共施設、病院、大型ショッピングモール、小田急線の各駅など、生活に直結するものが揃っている。 ・今後の地域連携を見据えて相模原市との接続を実現してほしい。 ・道路は年数が掛かるので、少しでも早く完了することを要望する。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり推進課
6月30日	・北大和小学校の東側にあった大きな緑地は、宅地造成されることになったが、児童数も多く敷地が手狭なので、学校の敷地にできたらよかったと思っている。 ・この辺りに相模下鶴間城があったとされているが、知らない人が多いため、地元の歴史を知れば、城があったところに学校があると自慢したくなると思うので、案内板などの設置を提案する。	(1)実現を目指し検討しているもの		文化振興課
6月30日	・外国籍の夫の住民票を取得するために、中央林間分室に行ったところ、申請の案内の翻訳は市役所本庁舎のみであると言われた。 ・翻訳文はコピーすれば対応できるのではないかと思う。	(1)実現を目指し検討しているもの		市民課
6月30日	川崎市は「外国人サミット」を通じて、外国籍住民の意見を聞いているようなので、大和市でも実施してほしい。	(4)既に対応済みのもの	外国人市民サミットは2009年から開催し、今年度で17回を迎えます。 広報やまとや公式LINE等を通じて発信しており、今後も広く市民に開催情報を知っていただけるよう、引き続き周知していきます。	国際・市民共生課
6月30日	厚木基地について、横須賀市のように米軍と交流してはどうか。	(1)実現を目指し検討しているもの		基地政策課
6月30日	タウンミーティング以外に市に意見する方法を教えてください。	(4)既に対応済みのもの	市政への提案、要望、意見等を受け付ける「市長への手紙」という制度があります。	マーケティング課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月30日	・ ガーデナーと学校ボランティアをしている。 ・ 先日、大野原小学校の校庭に花壇を作ってほしいと相談があり、花壇の再生と使われていなかったプランターを活用して対応した。 ・ 授業で使う畑として南側にある民地を借りているのだが、施錠して管理しているため利便性が悪かった。代替地として学校敷地内を探したところ畑であったと思われる場所を発見し7割ほど再生することに成功した。 ・ これまで学校ボランティアを3校経験しているが、どこの学校も花壇や畑が放置されている。プロのガーデナーでも、花壇や畑を造るには相当の時間がかかるので、オーバーワークにある先生が対応することは難しいと感じている。 ・ 他の学校の話になるが、手間暇かけてやってきた花壇や畑のボランティアを突如断られ、今は荒れ放題になっている。 ・ 学校側の考え方によって、ボランティア活動が継続できなくなるのではなく、継続性を持ってボランティア活動を受け入れるようにしてもらいたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
6月30日	学校の備品や消耗品などの予算執行について、海老名市は柔軟に対応していると聞くので参考にしてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの	学校の予算執行については、海老名市の対応も参考にしながら、必要に応じて改善に努め、会計規則等に基づいた適切な事務手続を行っていきます。	教育総務課
6月30日	・ 病児保育について、中央林間の病児保育室が閉室すると聞いた。 ・ 大和市の姿勢として男女共同参画の推進、女性の社会進出を応援するとともに、「子育て王国」ということも打ち出しており、これを両立させるためには、元気な子どもだけでなく病児への支援も大事ではないかと思う。 ・ 病児保育室の代替案としての広域連携や、ファミサポがあることも理解しているが、現実問題として、通勤経路から外れる施設に送迎する負担は大きく、金額面で高いファミサポは若い世代にとって厳しい。 ・ 市営の施設を増やす、事業者への補助金額を増額するなどして、市内の各駅に一か所ずつ病児保育室があるといいなと思う。 ・ 市長の病児保育に対する考え方や、今後の方針についてお伺いしたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	本市では、市内2施設で事業を実施することで、病児保育の定員は現在も近隣市と比較しても充分確保されていると認識しています。一方で、北部地域では通常の保育の需要も高く、市内2施設の利用に関して立地条件から不便さを感じているかたがいることから、北部地域での整備は検討課題の一つとなっています。 今後については、病児保育の利用状況や市の財政を踏まえ、市全体の施設数や事業形態等、事業のあり方を検討していきます。	はいく課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月30日	・茅ヶ崎市は大和市とほぼ同じ人口だが、コミュニティセンターの数が11館と大和市の20館と比べると約半分である。大和市のコミュニティセンターはすべて建設から30年以上経過しており、今後の維持管理には莫大な費用が掛かる。 ・コミセンには児童館も併設されているが、放課後児童クラブや放課後子ども教室もあり、児童館の在り方について整理が必要と感じている。 ・今後のことを考えると、コミュニティセンターを統廃合して、茅ヶ崎市と同じくらいの数に減らしてもよいのではないか。 ・新総合計画における3つのまちについて、北のまち、中央のまち、南のまちで8地区に分かれているが、地区社協は11地区、自治連理事区は15地区となっているので、この10年では難しいかもしれないが、今後は街づくりの区分けを地域活動に合わせて整理することも必要だと考える。 ・今後もコミュニティセンターを維持管理するのなら、全体の数を減らしつつ、自治会や地区社協の拠点としても使えるように増改築するとよいと思う。 ・また、コミュニティセンターは個人利用ができないので、子どもからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄れるようにすることも重要である。	(1)実現を目指し検討しているもの	コミュニティセンター及び児童館は、その役割や地域における意義を、改めて検討する必要があると認識しています。 コミュニティセンターを地域の拠点として、今まで以上に有効活用していく手法も、自治会やコミュニティセンター管理運営委員会と協議を進めています。	つながり推進課
6月30日	・自治会活動で一番解決が難しく大変なのが、ごみ問題、清掃、不法投棄、リサイクルステーションである。 ・新しいアパートができて、ごみの出し方で住人とトラブルになった場合、一市民が住人や管理会社との交渉するのは難しく、また、市との調整の間に入って大変な思いをすることが多々ある。地域の一番の課題である、ごみやリサイクルステーションの問題に関して、市がもっと寄り添ってくれるような対応をお願いしたい。 ・加えて、リサイクルステーションの看板が何年も前から内容が変わってなく、多言語対応してないので、外国人にはルールが伝わらない。 ・高齢化が進み、子ども世代が親の代わりにごみを出すのだが、ルールをわかっていないことも多いので、イラストなどを用いた分かりやすい看板を作成してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの	看板については、自治会からご相談をいただければ、作成することは可能です。	資源循環推進課
6月30日	・つきみ野まちづくり委員会では、駅前に花を植えるなど、まちをよくしようという考えのもと活動している。 ・高齢化が進む中では、住みよい歩きやすいまちにしたいというニーズも高く、自治会の枠を超えて、民生委員・児童委員や地区社協とも関係性を深めており、将来的にはつきみ野エリアのマネジメントを行う組織にしていきたいと考えている。 ・市長として、今後の地域活動どのように盛り上げていこうと考えているのか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		まちづくり推進課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月30日	・子どもを取り巻くデジタル環境、インターネット、ゲーム、SNSとの付き合い方について、小学校入学したらずぐ1年生から継続的に授業として教えるとともに、保護者への教育も徹底してもらいたい。 ・スマートフォンが普及して当たり前のものとなっているが、そのリスクについて自ら学ばない限り、危険性を意識することはない。 ・各家庭にスマートフォンのリスクが浸透していないと、なんとなく大丈夫であろうということで、持っていないくても、友達のもので触れてしまう。 ・土曜参観で保護者向けの研修があったが、全員参加ではなかった。一部の保護者だけ、学校単位ではなく、市内全校の保護者全員に伝わるようにするべきである。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
6月30日	給食当番の白衣について、当番が終わると各家庭で洗濯して次の人にまわしているが、肌の弱い子や柔軟剤の香りがだめな子など化学物質過敏症も増えていると聞いているので、マイエプロンにしてほしい。	(4)既に対応済みのもの	給食当番の白衣は、清潔で衛生的に給食の配膳が行えるよう学校において準備し、各学級で管理していますが、現在でも、各学校の判断により、個人の白衣等の持ち込みを認めたり、学校の白衣と個人の白衣等の持ち込みを選択できるような運用となっています。 ただし、配膳時の安全と異物混入防止の観点から、形状を白衣タイプとするなど、どのようなものでも持ち込めるわけではありません。	保健給食課
6月30日	・給食の食材に学校内で育てた野菜を使うことを提案する。学校内の栽培に地域の人も参加できると、地域のつながりが生まれ、少しではあるが農地も増え食料自給率も上がる。災害時には非常食としても活用できるのではないかと考えている。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	学校栽培の野菜は、収穫量が少なく調理場での活用が難しいこと、天候による収穫時期のズレなどが考えられることから、現在のところ給食に使用する予定はありません。	保健給食課
6月30日	・産後ケア制度の申請方法や助成券の扱いなどがわからず、本当に大変な産後直後から2か月くらいの間の利用を逃す方もいる。 ・すくすく子育て課の皆さんが頑張ってくれて、制度の周知が進んできており、徐々に大変な時期のママの利用も増えてきている。 ・産後ケアは宿泊型、通所型、訪問型があるが、助成券は7枚しかなく、利用者から足りないという声もあるので、助成券の枚数を増やすか、宿泊型、通所型、訪問型、それぞれに分けて発行するなどしてほしい。 ・少子高齢化、核家族化が進む中で非常に重要な事業と考えており、将来的には近隣市の事業所も利用できるようになると、よりよい子育て支援になるのではないかと。 ・お忙しいことは承知しているが、産後ケアの現場を視察していただけると、今後の事業展開の参考になると思う。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	申請については、産後すぐの利用ができるよう、令和6年度より妊娠28週から申請できるようにしました。 周知については、妊娠届出時の面談や妊娠8か月時のアンケート送付時にチラシを同封することで、すべての妊婦に周知することに加えて、妊娠期の体調確認の電話連絡でも情報提供しています。 近隣市での利用について、令和6年度から本市在住者の出産が多い医療機関での宿泊型、通所型の利用を開始しました。今後も相応の利用が見込まれる施設があれば利用できるよう調整していきます。 利用回数については、こども家庭庁の資料を基に設定しています。今後も国の動向や利用状況を踏まえ検討していきます。	すくすく子育て課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
6月30日	・共働き世帯も多く、ＰＴＡ役員の担い手がない状況で、報酬があれば少し状況が変わるのでないかと考えている。 ・自治会、子ども会についても同様に役員の担い手がない状況で、役員をしてもらえないか声を掛けると、距離を置いたり、脱会してしまう方もいる。 ・子どもたちの登下校の見守り活動についても、対応が出来ないから子どもを登校班から抜けさせるという事例もある。 ・ＰＴＡや自治会でも何とかできないか頭を悩ませているが、出来ることも限りがあるため、もっと大きな組織で対応することはできないか。 ・ＰＴＡ役員の皆さんも仕事をしている方が多く、集まって会議を開くこともままならないので、会議をデジタルに置き換え、グループＬＩＮＥでやり取りをするようになっているが、学校との連携についてはアナログなままで、先生方に何かお伝えする場合は、平日午後５時までには学校へ出向いている。 ・こういったところもＰＴＡ活動のやりにくさに繋がっていると思う。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【子ども会について】 子ども会は基本的に任意団体であり、地域によって子ども会の活動方針が異なることから、役員の選出方法を含めた運営方法につきましては、各子ども会が主体となり定めているものと承知しています。	こども青少年みらい課
		(1)実現を目指し検討しているもの	【自治会等について】 自治会や各種地域の団体が、担い手不足という課題に直面していることを把握しています。 自治会を中心とした地域コミュニティ活動が、今後も持続可能になるように、どのような取組が有効か、他市町村の事例なども参考にしながら地域の方々と協議・検討を行っています。	つながり推進課
7月1日	・つきみ野７丁目の交差点付近の歩道に自転車走行中止の標示が建った。 ・あの辺りは自転車走行用の線もないため、自転車が走ることができると分かる線を引いてもらえると安心して自転車に乗れるようになる。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路整備課
7月1日	つきみ野学習センター前に横断歩道があるが、車がなかなか停まってくれないので信号をつけてもらいたい。	(6)市の所管でないもの	横断歩道と信号は警察の所管になるため、警察に要望をお伝えしました。	市民生活あんぜん課
7月1日	・大和市は放課後寺子屋やまことや放課後児童クラブなど、充実している面はあるが、子ども達が、もっと気軽に立ち寄れる場所がほしい。 ・子ども達や若い世代が高齢者世代と気軽に交流できるような機会があると子ども達の可能性も広がり、大和市の将来にとってもすごく大事なことを考える。	(3)令和７～８年度中に対応予定のもの	今年度から小学校の放課後の時間を活用した「エンジョイスports事業」をパイロット校で実施します。この事業は児童にスポーツを楽しむ機会を提供するだけでなく、仲間への思いやりの心を育むことなども目的としており、市内や地域で活動するスポーツ団体が指導に当たります。気軽に参加でき、そして多世代と交流できる活動を通じ、本市の将来を担うこどもたちが心身ともに成長していくことを期待しています。	こども青少年みらい課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月1日	・特定分野に特異な才能のあるギフテッド児の困り感は、学校に理解されず申し出をしてもわがままと捉えられて、合理的配慮を得ることが難しい。 ・多くのギフテッド児は孤立感を深めて自己肯定感を失い、不登校となり、社会からも切り離されてしまう。 ・ギフテッド児への理解がない先生も多いので、この状況を改善してほしい。 ・コロナ禍を経験してきた子どもたちは、コミュニケーション能力が低くなり、社会生活や学校生活に不安を抱えている子も多い。 ・子どもたちの不安を取り除く、ウェルビーイングの気づきを与えるプログラムとして、千葉大学子どものこころの発達教育研究センターが出している「勇者の旅プログラム」というものがある。 ・地域で取り入れやすいものとなっており、メンタルを病んだ教職員にも役立ち、そのような教員の発掘にも繋がるプログラムでもあるとのことなので、是非大和市で取り入れてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの	ギフテッドへの理解について、学校職員への理解が進むよう働きかけていきます。	指導室
7月1日	・病院の書類を持って厚木保健福祉事務所大和センターに難病申請することになったが、保健所の建物が非常に古く場所も名称も分かりにくかった。 ・市役所も含めて申請に必要な書類を様々な場所で取得して申請に行かねばならずとても大変だったので、鶴間駅周辺1カ所で済むように市役所や保健福祉センターの機能を移転し集約してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【本庁舎の建替えについて】 厳しい財政状況が続く中、市役所本庁舎については、安全性向上や有効活用の面から、老朽化した設備の改修を行い、施設の長寿命化を図っていきます。	管財課
7月1日	大和市役所の庁舎も他の周辺自治体と比べて古く見えるが、建て替えなどはしないものなのか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	厳しい財政状況が続く中、市役所本庁舎については、安全性向上や有効活用の面から、老朽化した設備の改修を行い、施設の長寿命化を図っていきます。	管財課
7月1日	大和市役所の庁舎も他の周辺自治体と比べて古く見えるが、建て替えなどはしないものなのか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		総合政策課
7月1日	・ある市議会議員は税金がなんのために集められているのか理解していないようであり発言を聞いていても疑問を感じる。 ・市議会議員だけでなく、国会議員も含めて日本の政治のレベルがとても低くなっており、大和市の議員もまず議論の仕方を市の職員と一緒に勉強した方が良いと感じている。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	いただいたご意見は正副議長に情報提供しました。	議会事務局
7月1日	コミュニティバスについて、高齢者は無料にしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		人生100年推進課 まちづくり総務課
7月1日	・公益財団法人かながわトラストみどり財団を積極的に活用して緑地の保全に努めていただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		みどり公園課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月1日	土木工事費の積極的な予算の組替えにより、街路樹、公園を増やすなど、緑地の拡大、保全、維持に努めていただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【街路樹について】	道路整備課 道路管理課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【公園について】	みどり公園課
7月1日	デジタル化について、未だにプリントが子ども経由で情報発信されている。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		教育研究所
7月1日	・保護者のモンスター化について、全ての教員が正しいとは言わないが、学校現場では対応に限界が出てくることもある。 ・限度を超えている保護者について、バックアップするような組織が市にあると教員も対応しやすくなるのではないかと感じている。	(1)実現を目指し検討しているもの		指導室
7月1日	収入の改善について、予算もあることなので難しいこともあると思うが、優秀な人に教員になってもらうためには、働く環境の予算など改善が必要と考える。	(1)実現を目指し検討しているもの	さまざまな方法で教員の確保に努めるとともに、働き方改革の推進などにより環境整備を図っていきます。	学校教育課
7月1日	・学校や市役所のデジタル化について、デジタル化する際のリテラシーがなく、情報漏洩やネットワークで情報を共有すること、業務を効率化することが一緒に語られている。 ・子ども達には一人一台パソコンを配られて授業をしているが、教育現場や教育委員会をはじめ、役所の方々はＩＴリテラシーを理解させるための研修をしてほしい。	(4)既に対応済みのもの	令和５年度より、デジタル時代に対応するための研修を研修体系に位置付け、デジタルリテラシーに係る研修を実施しています。令和７年度においても、デジタルリテラシーと情報セキュリティ対策に関する知識を習得し、職員のデジタルスキルの底上げを図るため、デジタルリテラシー基礎研修を実施する予定です。今後も、職員がデジタル技術を効果的に活用できるよう、研修内容の充実を図っていきます。	人財課
		(4)既に対応済みのもの	【学校について】	教育研究所
7月1日	・各地区において、まちづくり構想や申し合わせ、計画等が策定され、積極的に進めていただきたいとのことであると思うが、不動産業者が街に大きな集合住宅などを建てることになると、業者は、条例は守るがそれ以上のことは知らない、各地区の構想等に対応する義務はないになってしまう。 ・業者に対して、地元のまちづくりの構想等を守ること、納得できる説明をすることを義務付ける条例を制定するなどを検討していただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		まちづくり計画課 まちづくり推進課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月2日	・道路環境美化活動に参加し相模大塚駅北側周辺の美化に努めており、わいわい公園の活動の中で感じたことについて申し上げたい。 ・道路管理課はごみ袋が15袋出ましたと午前中に連絡すると、午後に駆けつけて回収してくれており、6月は4回もあったが対応してくれた。 ・一方、みどり公園課は、土曜日にわいわい公園で12袋出たごみ袋が回収をお願いしてから1週間経っても回収されない。 ・週明けの月曜にも回収されず、10日経って再度請求をして漸く回収された。 ・今後、回収されないごみ袋に穴を開けられ労力が無駄になってしまう恐れもあるため、組織による対応を統一して臨機応変に対応していただきたい。 ・ポケットパークは、回収をお願いしてから20日間が経ち、今朝もごみがそのまま残っている状況なのでいかがなものかと思う。	(4)既に対応済みのもの		資源循環推進課 みどり公園課
7月2日	・粗大ごみの処分・減量化について、多くの自治体がジモティーと協定するなど不用品の減量化に繋げている。 ・大和市の家具類再生展示施設「リサイクル未来館」が8月に閉館するが、回収品を再生、入手できるよう申込み抽選があり購入まで手間がかかっていたことも課題だったかと思う。 ・より簡単に、費用をかけず、不用品を必要とする人に届けるシステム、持込み無料の専用施設を設置して、全国のモデル市になってもらいたい。	(4)既に対応済みのもの		資源循環推進課
7月2日	大和市にペットとともに楽しめる商業施設を例えば泉の森周辺などにつくり、地域の活性化に繋げてもらいたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		産業活性課
7月2日	資源リサイクルの分別回収について改善してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課
7月2日	相模大塚に特急を停めてほしい。	(6)市の所管でないもの	相模鉄道㈱へ要望をお伝えします。	まちづくり総務課
7月2日	将来、大和市を繁栄させるためには厚木基地の西側にU S Jのような施設をつくるなど盛り上げていかないといけない。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		基地政策課
7月2日	・孫は授業で楽しくダンスをしていて、市のイベントにも参加している。 ・あと1～2年で中学生になるので、中学校にダンス部をつくってほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
7月2日	・相模大塚は電車の本数が増えたが、周辺への振動が問題である。 ・騒音対策、環境整備について、検討していただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		まちづくり総務課
7月2日	・子どものスポーツに携わることが多く、運動施設は数も種目数も充実しているが、活性化している印象がない。 ・大和市の子どもの運動能力が非常に低く、大和市の小学生のなかで足が速い子ども、全国の中の上くらい。	(4)既に対応済みのもの	第3期大和市スポーツ推進計画に基づき、子どもたちが積極的に遊びや運動ができる機会を提供していますが、引き続き、スポーツ活動を通して子どもの健やかな心身の育成、ならびに体力・運動能力の向上に貢献できる環境づくりに努めていきます。	スポーツ×ライフ課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月2日	子どもが集まる地域、子育てのしやすいまち、子どもが安心して成長できるまち、やはり子どもが宝だと思うので、子どもがどんどん集まってくるまちにしていだければと思う。	(4)既に対応済みのもの	子どもを望んだ時から子育て期にわたり切れ目のない支援を行うとともに、安心して子どもを生み育てることができ、子どもの健やかな成長に向けた支援を引き続き行います。	こども総務課
7月2日	ごみは貴重な資源であるという考え方を市として提案していくのが大事で、近隣市も含めて発信していくべきである。	(1)実現を目指し検討しているもの	令和7年1月に「やまとニュース」で発信しています。	資源循環推進課
7月2日	ごみの中に希少金属等を大量に含むものがあるので、大和市単独で再利用できるシステムづくりをするのは難しいと思うので、県や国、地域が一体化することで、ごみを削減できればと思う。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		資源循環推進課
7月2日	資源リサイクルについて、環境管理センターの方とやり取りする機会があるが、市民の声を聴きながら対応してくれていると感じるので、大和市の資源リサイクルがよくやっていることを、もっと発信してほしい。	(4)既に対応済みのもの	市のホームページ等で発信しています。	資源循環推進課
7月5日	・新幹線の線路脇に新築戸建ができたことに伴い2つ公園（根下南青空公園、三軒庭希望公園）ができたが、ただの草むらで遊具も何もない。 ・公園付近は若い方が多く公園整備の強い要望が多数来ており、市のみどり公園課にも伝えてあるが変化がない。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		みどり公園課
7月5日	・コミュニティセンター下福田会館の大規模改修が予定されており、管理運営委員会から要望を出している。 ・市長は市民の声、現場の声を聴くとおっしゃっているので、私たちの要望もしっかりと受け止めていただきたい。	(4)既に対応済みのもの		つながり推進課（地域コミュニティ係）
7月5日	・千本桜地区では引地川沿いの桜並木周辺で年に数回イベントがあり、近隣の店舗が露店を出したり、地元の農家さんの協力で地場野菜販売などを行っている。 ・各店舗や個人で対応しているため、用意できる食べ物の量も限界があり、お昼前に完売してしまうので、地域全体で対応するようになれないか。 ・先日の「アド街ック天国」でも取り上げられるくらい魅力ある場所なので、夜桜のライトアップ、川に落ちないためのバリケード、その時期だけでもよいので周辺にテーブルや椅子を置くなど、大和市で対応してほしい。	(5)市として対応困難、不可能なもの	高座渋谷桜ヶ丘・千本桜さくらまつりは、実行委員会の担い手不足で開催が中止となっている状態です。 千本桜商店会が自主的に年に数回イベントを実施していることは市も承知していますので、ご提案内容を共有させていただきます。	にぎわいイベント課
7月5日	・コミュニティバスについて、とても便利でありがたく思っている。 ・もう少し便数が多く、特に昼間の時間帯を増便してもらいたい。 ・のろっとの運賃100円は安すぎるので、倍の200円でもいいので、収益を上げることで増便につなげてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		まちづくり総務課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月5日	・昨年度、府中市で開催された、地域課題解決プラットフォーム「みんぶら」に参加した。 ・地域課題の解決をボランティアが担う場合、資金面で行き詰まることが多く、それを克服するために、ビジネスとして収益を得ることで継続的に地域貢献をしていくことを学んできた。 ・地域課題の解決に向け、大和市でも府中市のような取組を行なっていただくことを提案する。 ・府中市では「みんぷら」で学んだ事業者同士の横のつながりができているが、私が同じ志を持ってやったとしても、現在の大和市では広がりが生まれないので、地域全体にそういった同じ考え方の人を増やしてほしい。 ・大和市に大企業が来れば税収は上がるが、個人事業主がもっと活躍できるようになることも税収につながるので、ぜひ検討いただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【地域課題の解決に向けた取組について】 府中市の地域課題解決プラットフォーム「みんぶら」の調査研究をしています。 本市では、様々な地域課題の解決に向けて活動しているNPO等との連携をサポートするため、市民活動センターを協働事業で運営しており、セミナーやイベントの開催を通し参加者同士のつながりが広がるよう努めています。	つながり推進課
		(4)既に対応済みのもの	【企業誘致について】 本市では、税収増加や雇用拡大のため、新規立地に関する優遇措置である奨励金制度を整え、企業の誘致に取り組んでいます。また、個人事業主に対しても、制度融資等の資金面での支援や、経験豊富な中小企業診断士がさまざまな経営課題に対して相談に応じる「創業・経営なんでも相談会」を開催するなど、事業形態に関わらず、幅広い支援を実施しています。	産業活性課
7月5日	・令和5年11月1日発行の「やまと市議会だより」第320号の表紙には「前市長時の決算を認めず」という記事があり、これは大変なことだと思い、色々調べてみて、認定されなくても決算の効力に影響がないことがわかったが、このことを知らないことを市民は多いと思う。 ・不認定でも決算に影響がないことを広報等で説明するべきだったのではないか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		財政課
7月5日	・大和市は「健康都市やまと」ということで様々な健康増進事業を行っているが、足の健康にも着目してもらいたい。 ・人生100年と言われる中で、足の寿命は50年と言われており、何らかの足のトラブルを抱えている方は多い。立てなくても、足を床に付けて踏ん張ることができるかで人生が変わると私は思っている。 ・足の健康意識を高めるため、0歳からの「足育」を啓発しているが、まだまだ関心は薄いので、大和市としても足の健康を推進してもらいたい。	(4)既に対応済みのもの	市民の健康増進、介護予防の普及啓発を目的に、介護予防セミナー等を開催しています。特に介護予防においてフットケアは重要であることから、介護予防セミナーに取り入れ、実施しています。今後も引き続き普及啓発に努めていきます。	健康づくり推進課
7月5日	待機児童ゼロの裏で保留児童は多く、保育所の空きがないため求職活動を休止している場合も保留児童に含まれる。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		ほいく課
7月5日	保育士の場合、大和市内の保育所で働いていないから加点をもらえないという問題もある。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		ほいく課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月5日	・民生委員をやっている中で、大和市は認知症、独居、引きこもりなど福祉に関する相談がとても充実しているが、対応できず困っているのが道路に関することである。 ・市の道路管理課に相談しても具体的な対応時期は示されず、私道に関しては一切対応してもらえない。私道でも大きなごみ収集車は出入りするので路面が削られ、水溜まりや陥没が多くある。 ・高座渋谷は砂利敷きの私道や袋小路も多く災害時は心配である。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路管理課
7月5日	・この辺りの公園の草刈りは8割方自治会で行っており、草刈り機の電源として発電機を持ち込んでいるが、発電機は熱を持つので危険である。 ・充電式の機材もあるので、公園の中にある照明用の電気を使わせていただきたい。電源は自治会長が鍵を預かる形で管理し、電気の使用は公園管理用に限定する。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		みどり公園課
7月5日	・引地川の中州には生態系があり、子ども教育にも役立っており、千本桜から下流を管理している神奈川県に中州の保全を要望している。 ・防災や治水の観点から中州を撤去することを望む声があることも承知しているが、専門家の意見も取り入れて、生態系保全と防災対策を両立できるよう市から神奈川県に要望してほしい。	(6)市の所管でないもの	丸子中山茅ヶ崎線・新道下大橋から下流は神奈川県 厚木土木事務所 東部センターが管理しています。生態系保全と防災対策を両立できるよう市から要望していきます。	下水道・河川施設課
7月11日	・国保税が43%あがった。なぜ急激にあげたのか、段階的にあげるなどの配慮はできなかったのか。	(4)既に対応済みのもの	平成30年度の国保制度改革により、県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに、国が進める県内統一保険料の導入に向けて、赤字解消への取組が求められるようになりました。令和6年度の税率等改定は、国保財政の健全化により一般会計からの赤字補填を解消することが大きな目的であったことから、加入者の所得、世帯の状況、収納率等を総合的に勘案した税率とし、前回（平成24年度）の改定に比べて改定率が大きくなりました。 令和7年度は税率等を据え置き、令和8年度の子ども・子育て支援金の開始に向けて、安定した国保財政を維持できるよう、税率等改定を検討していきます。	保険年金課
7月11日	・シリウスは建物が立派なのに、蔵書の質が悪い。	(4)既に対応済みのもの	図書館における資料の選書は、司書等で構成する選書会議において検討しており、購入や寄贈などにより1万4千冊以上の蔵書を受け入れていますが（シリウス内図書館：令和6年度実績）。 今後も資料選定収集方針に沿って、地域社会にふさわしい蔵書構成となるよう努めていきます。	図書・学び交流課
7月11日	・借りようとした雑誌は2年前のものだけで、最新作は借りられなかった。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	雑誌について、最新号は需要が高いことから館内での閲覧に限り、バックナンバーは貸出しを可能としています。多くのかたに利用していただくため、現在の運用を継続していく予定です。	図書・学び交流課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月11日	・ 大和駅のプロムナードについて、ペットを散歩する際の糞尿がそのままになっていて大和市のイメージダウンに繋がる。	(4)既に対応済みのもの	市では犬のふんの放置禁止看板やイエローチョークを、申請いただいたかたに無償で配布しています。	環境・公害対策課
7月11日	・ スタンドパイプは、実際に使われたのが横浜市、東京都で各1件とほとんど使われていない。 ・ 大和市では各自治会で緊急の使用訓練もしているが、実際に使うためには、最低でも2〜3人必要で、慣れている人でも10分はかかるため、使う前に消防車が来てしまい効率が非常に悪い。 ・ 消防車が入りにくい場所には有効だと思うので、市内に万遍なく置くのではなく、必要な場所に置けばいいと思う。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	火災は何よりも初期消火が大切であり、まずは消火器等を使用する初期消火訓練を指導しています。さらに大規模災害時など消防車が進入できない場所等では、市民の皆さんが協力してスタンドパイプ等を使用し有効な初期消火や延焼防止ができるように周知していきます。	消防署管理課
7月11日	・ 小中学校の老朽化したプールが順次解体されており、現在は引地台温水プールを使っている。プール廃止後の跡地運用について、現時点で何か決まっていることがあれば教えてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		教育総務課
7月11日	・ 現在、鍼灸の専門学校に通っており、子どもを児童クラブに預けているが、「専門学校の授業の時間のみ」が預かりの対象で、試験前など先生の指導の下、針を刺すなどの指導を受けているが、自主的な活動は授業ではないので預けることはできないと言われて困っている。 ・ 大和市は、預かりのために実習日の申告なども毎回必要だが、同じ学校に通う横浜市のママ友はそんなことしたことがないと言っていた。	(4)既に対応済みのもの	原則、学校が証明した授業時間をもとに利用予定を想定しています。個別の事情がある場合は、各児童クラブにご相談ください。急な利用要請に最大限対応していますが、職員の配置上ご希望に添えないこともあります。	こども青少年みらい課
7月11日	・ 市内20館のコミセンはどこの会館も30年以上経過しており、運営の向上が必要と感じている。 ・ コミセンを地域の拠点として、児童館で遊ぶ子どもが多世代と交流する場になったらと考えているが、コミセンは生活あんしん課、児童館はこども・青少年課と縦割りで別の施設という扱いで現時点では実現が難しい。 ・ コミセンは団体利用に限定しているが利用数が減っている状況もあるので、個人利用を可能とし、シリウスのように気軽に立ち寄れる場にしてみようか。	(1)実現を目指し検討しているもの	【コミセンについて】 コミセンの役割、意義を再度検討し、地域のニーズに合った施設になるよう協議しています。	つながり推進課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【児童館について】 児童館が、子ども達にとって充実した時間を過ごすことができる居場所となるよう、つながり推進課とともに連携をとりながら検討していきます。	こども青少年みらい課
7月11日	・ 市営住宅の空室について、市営住宅は564戸あるが各住宅に1割ほど空室あるように見受けられる。 ・ 市営住宅に住んでいる側からすると、高齢化が進展する中で、空室があると自治会役員の頻度も多くかなりの負担である。 ・ 年2回募集があるが、10戸ほどしか募集されていないので、空室のまま放置することがないように要望する。	(5)市として対応困難、不可能なもの	市営住宅の空き室は、毎年2回の募集を確実にを行うために必要であり、現状の空き室数は適正と考えています。	建築指導課
7月11日	・ 高齢者のデジタル環境について、市でもスマホ教室をやっているようだが、そもそもスマホを持っていない、ネット環境がないという方も多く、市に問い合わせるとダウンロードしてくれと言われ困っており、そういった方たちを取り残さないようにしてほしい。	(4)既に対応済みのもの	行政手続のオンライン化など、デジタルサービスを提供する一方で、デジタル技術の活用が困難なかが窓口や電話等のご案内の中で不安になることがないように今後も努めています。	デジタル戦略課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月11日	・ 星の子広場、やまと公園、ゆとりの森、とても素晴らしい施設だが、緑が少なく木陰もない。 ・ 大和市は川崎市に続いて緑が少ない自治体なのでもっと増やしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		みどり公園課
7月11日	・ 子どもの見守り活動に関わりたいと思っている人はけっこういる。 ・ 先生方は子どもたちの見守りについて対応はできず困っている。 ・ 手伝いたいのに手伝い方がわからない、手伝ってほしいのに依頼ができていないという感じで、マッチングがうまくいってない気がする。 ・ こういう状況について市長はどう思われるか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
7月11日	・ 小学校児童数について、市内の北部は非常に多いが南部は減少している。 ・ 地域によってかなりの差があることについて市長はどう感じているか。	(4)既に対応済みのもの	児童生徒数を注視しつつ、教育環境の整備に努めていきます。	学校教育課
7月11日	・ 福祉タクシー利用券について、1か月2千円分、1年最大2万4千円分交付されており、1回の乗車で2千円分まで使用できる。 ・ 先日、ボランティアをしている視覚障がいのある方から、小田急線で事故があり踏切が渡れず大和駅から下鶴間の自宅まで4千円かかったが、こういう時に1回の上限以上の利用券を使うことは可能なのか？	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	福祉タクシー利用券の利用上限額につきましては、要綱の規定に加え、他の助成事業との整合性を図る必要があること、協力事業所との協定に際してのルールとして徹底しており、変更により混乱を生じる恐れがあることなどの理由から、現時点で対応は難しいと考えておりますが、頂いたご意見については、今後、制度を見直す際の参考とさせていただきます。	障がい福祉課
7月11日	・ 総合計画について、災害対策に関する内容が非常に少なく感じる。 ・ 地震などの災害が起きた場合、自治会頼りになっているのが実情である ・ 災害時に助かりたいから自治会に残るという人もいる。	(4)既に対応済みのもの	総合計画は将来都市像の実現に必要な各施策を網羅的に整理する性質上、特定の施策について詳細に記載することは難しい面があります。その中で、防災分野は3つの目指す姿掲げて体系的に推進する方針を定めており、市として力を入れて取り組んでいく位置づけとなっています。	総合政策課
7月11日	・ リサイクルステーションの持続可能な方策について、進捗状況を聞きたい。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課
7月12日	・ その他プラ（その他プラスチック製容器包装）をリサイクルステーションに集めて回収するのは問題が多いと考えている。 ・ 集積すると汚れたまま出す人がいて、カラスに荒らされる被害も頻発しているので、その他プラは戸別回収にしてもらいたい。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課
7月12日	・ 中央林間5丁目で老人会のイベントを行う際、免許を返納した、足腰が弱ったという理由でタクシーの使用、家族の送迎が必要という方が増えている。高齢化の進展が著しいので、今後、全市的に同じような状況になってくると思われる。 ・ 外出機会を減らさないため、タクシー料金の補助をしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		人生100年推進課
7月12日	・ 中央林間駅から西側のエリアはやまとんGOが運行されているが、満員で乗れないことがある。常時満員というわけではなく、空いている時間もあるので、乗車状況を調査していただき、混む時間帯の運行を増やしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		まちづくり総務課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月12日	・ 5 0 年前の中央林間は、大和市歌 1 番の歌詞「風光る さわやかな 緑の大地」のとおり、緑の多い自然が豊かな場所であった。その後、宅地開発が進み、狸や蛇などの野生動物も生息していた豊かな緑は殆ど無くなってしまった。 ・ 人口が増えることはよいことではあるが、少なくなっている緑を保全していくべきではないか。当時の面影を残すのは、多胡記念公園、宇都宮記念公園、相模カンツリー、緑野小学校周辺に点在する民有地のみである。 ・ 緑を有する民有地を売却する場合、市が買い上げるなどして保全してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		みどり公園課
7月12日	・ ボラリスの正面玄関の近くにある踏切（中央林間 1 号踏切）について、停止線が遮断機ギリギリの位置にあり、電車の通過待ちで車が停車すると、線路沿いの道（中央林間 1 2 1 号）を直進する車の通行を邪魔してしまう。 ・ 可能であれば、停止線を車 1 台分後ろに下げてほしい。	(6)市の所管でないもの	停止線については警察の所管になるため、所管課を通じて警察に要望をお伝えしました。	市民生活あんぜん課
7月12日	・ 自治会員が減少している要因として、リサイクルステーションの維持管理の負担がある。自治会員の高齢化が進み、リサイクルステーションに立てないから、自治会を辞める方も増えている。 ・ 宅地開発が進み住民が増えているが、自治会の加入についてお願いをしても若い世代は殆ど入会してくれない。 ・ 市としても自治会員の減少について真剣に考えて、何か対策をお願いしたい。	(1)実現を目指し検討しているもの	自治会加入率の低下など、さまざまな課題が自治会に生じていることを承知しています。課題解決に向けて、現在、自治会を含めた地域コミュニティの負担を軽減すること、地域コミュニティ活動の魅力を向上させることの2点に焦点を絞り、自治会と行政が足並みをそろえて改革を進めることを目指し、他市町村の事例研究のほか、庁内での協議・検討、自治会関係者との協議・検討を進めています。	つながり推進課
7月12日	・ スタンドパイプについて、自治会館や公園に設置されているが、消火栓のふたを開けるのは困難であり、災害時に扱える人は殆どいないと思われる。 ・ スタンドパイプは税金の無駄なので、何とかよい方策を検討いただきたい。 ・ スタンドパイプについて、自治会の防災訓練で年に 2 回ほど操作訓練をしているが、容易に扱えるものではないと感じている。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	スタンドパイプは、消火栓に接続して放水するため、消火器よりも消火能力が優れています。狭い道路や木造住宅密集地など、消防車両が進入できない場所でも、消火栓を活用して有効な初期消火や延焼防止ができます。今後も、地域防災訓練等で一人でも多くの人が扱えるように周知していきます。	消防署管理課
7月12日	・ 住宅密集地では、災害による停電復旧後の通電火災が心配されるので、感震ブレーカーの設置の補助を拡大してほしい。	(4)既に対応済みのもの		建築指導課
7月12日	・ 子どもたちの安全確保、現場の先生不足を補うために、防犯カメラの設置や校門の施錠なども実施してほしい。	(4)既に対応済みのもの		指導室 教育総務課
7月12日	・ 民生委員をやっているので、小学校と意見交換をすることも多いが、痛切に感じるのは先生の不足である。 ・ 子どもたちの安全確保、現場の先生不足を補うために、防犯カメラの設置や校門の施錠なども実施してほしい。	(4)既に対応済みのもの	防犯カメラについては、全市立小中学校に設置済みです。校門の施錠については、来校者への対応に課題があるため、実施は難しい状況です。	指導室 教育総務課
7月12日	・ 大和市の人口が増えているのはよいことであるが、人口増が北部に集中している一方で南部は高齢化しており格差が広がっている。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月12日	・ 北部はマンション建設も盛んで、ここの近く（中央林間1丁目20）にも130戸のマンション建設される予定である。 ・ 既に工事が始まっており、工事関係車両の出入りにより周辺道路の舗装にダメージが生じている。陥没は部分補修されているが凸凹の箇所も多く、雨の日には大きな水溜まりができるようになっていいる。 ・ 市長に現場を一度見てもらい、工事業者を指導するなど対応してほしい。	(4)既に対応済みのもの		まちづくり計画課
7月12日	・ ポラリス西側に隣接するスポーツ広場について、雨の日には敷地の半分以上が水溜まりになっているので、水捌けをよくするなど対応していただきたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	市民交流拠点ポラリスの隣にある旧市営緑野住宅跡地は、現在、中央林間連合自治会がスポーツ広場として管理しています。頂いたご意見は、中央林間連合自治会、隣接する星の子ひろばを管理するみどり公園課と情報共有し、今後の参考とさせていただきます。	図書・学び交流課
7月12日	・ 校外委員で登下校の見守り活動を行っている中で、外国籍家庭とコミュニケーションが上手く取れないことが多く、校外委員担当の先生に相談することになるが、先生も忙しいため頻繁に相談することも出来ず困っている。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
7月12日	・ 先生の不足解消や負担軽減をお願いする。	(1)実現を目指し検討しているもの	教員不足の解消に向け、さまざまな方法で教員の確保に努めるとともに、働き方改革の推進などにより環境整備を図っていきます。	指導室/学校教育課
7月12日	・ P T A活動について、未だにアナログなやり方であるため、仕事をしている人は活動に参加が難しい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
7月12日	・ 相模原のある高校で、P T A活動に地域（Community）を加えるPTCA活動を行っており、保護者と学校だけでなく、地域全体で子どもを見守り育ていくことについて、市としても啓蒙していただきたい。	(4)既に対応済みのもの	大和市家庭・地域教育活性化会議支援事業等において、PTAや自治会を加えた活動は既に広く実施されていますが、さらに地域全体として子どもを見守り育てていくことについて充実させていきたいと考えています。	こども青少年みらい課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		指導室
7月12日	・ 高齢化が進む中で加齢性難聴の方は増えており、聞こえが悪くなると社会参加がしにくくなることが問題になっている。 ・ 令和3年に大和市議会が「加齢性難聴者による補聴器の購入等に国の支援を求める意見書」を提出している。 ・ 健康寿命を延ばすために、加齢性難聴に関する補聴器購入費を補助してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの	国へ補助制度の創設を働きかけるよう、神奈川県市長会へ要望しました。	人生100年推進課
7月12日	・ 先ほど教職員が不足しているという話があったが、同じように保育士も不足している状況である。中央林間地域は保育所の数が多いが保育士は不足しており、0歳児を受け入れているところは少なく、受けられない保育所も多い。	(4)既に対応済みのもの		ほいく課
7月12日	・ 子どもを産んですぐに働きたい人は多いが、受け入れ先がない状況で、預け入れできても、上の子と下の子が別の保育所など、希望通りになることは少ないので、保育士不足の解消に向けて対応をお願いしたい。	(4)既に対応済みのもの		ほいく課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月12日	・ 少子高齢化により生産年齢人口が減少すると市職員の人材確保も困難になってくると考える。職員が確保できないと、市の各事業が維持できなくなり、市民生活の質が落ちていくのではないかと。 ・ 生産年齢人口が減ってくると人材の奪い合いになるが、働き手は待遇のよい職場を選ぶものである。国家公務員の給与水準と比べた時、県内３３市町村の給与水準は低く、その中でも大和市の給与は低い。 ・ このままの水準だと、今の行政サービスを維持することは出来ない。今日もたくさん意見が出ているが、何も受け止められない状況になる。 ・ 現状の受け止め方、今後の方策について伺いたい。	(1)実現を目指し検討しているもの	人財確保や職員のモチベーションの向上を図るため、情勢適応の原則に基づき給料表の抜本的見直しについて研究・検討を進めていきます。 また、職員の確保に向けては、採用特設サイトや就活セミナー、学校訪問などを積極的に行うとともに、いわゆる公務員試験の形式ではなく、ＳＰＩ検査などを行うことで、本市への受験者を増やすよう努めています。	人財課
7月12日	・ 中央林間地域は住宅密集地で火災が非常に心配であるが、ポラリス西側に隣接するスポーツ広場は災害時の要になると考えている。 ・ スポーツ広場の存続と、有事の場合を想定したトイレの設置を要望する。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	市民交流拠点ポラリスの隣にある旧市営緑野住宅跡地は、現在、中央林間連合自治会がスポーツ広場として管理しています。スポーツ広場は、災害発生時の一時避難場所としても指定されています。スポーツ広場の利用者が使用するトイレについては、有事においても隣接する星の子広場の利用者と同様に、ポラリスのトイレを想定しており、ポラリスのトイレを使用していただきたいと考えています。	図書・学び交流課
7月12日	・ 様々な意見が出ているが、何をするにしても財源が必要である。 ・ 金融機関に聞いた話では、融資の数が減っているとのことである。 ・ 財源確保に向けて、企業誘致、起業支援、操業継続支援、事業承継などの産業振興に融資を絡めて、法人市民税収を上げていってほしい。 ・ 産官学連携も含めて前向きに検討してほしい。	(4)既に対応済みのもの	【産官学連携について】 必要に応じ、民間企業や大学と連携協定を締結し、市の施策や事業の効果が高まるよう取り組んでいます。	総合政策課
		(4)既に対応済みのもの	【企業誘致、起業支援等について】 本市では、税収増加や雇用拡大のため、新規立地に関する優遇措置である奨励金制度を整え、企業誘致に取り組んでいるところです。また、起業家支援としましては、制度融資等の資金面での支援のほか、「やまと起業家支援スペースＲｉｇｅｌ」の貸出し、やまと企業サポートセミナーの開催など、さまざまな事業を展開しています。	産業活性課
7月16日	・ 大和市のＵＳＰ（Unique Selling Proposition＝商品やサービスが持つ独自の強みや価値を明確に表現したもの）とは何か。	(1)実現を目指し検討しているもの	①交通利便性が高く、市内や各都市へのアクセスがしやすいこと、②コンパクトな市域に各種サービスが集積していることなどから便利で暮らしやすいこと、③災害に強いことなど、いくつかの強みがありますが、今後都市の優位性を保っていくためにはそれらを踏まえて都市のブランド力を向上させていく必要があると考えており、そのためのデータ収集や調査・分析などを進めています。	マーケティング課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月16日	・新しい総合計画の行政経営の方針の中で、社会の変化にチャレンジする「攻め」と、市民にとって真に必要な施策の取捨選択を図って健全な財政を維持する「守り」という話があったが、市長は自治会に対してどのような考え、どのような位置付け、どのような支援を考えているか。	(1)実現を目指し検討しているもの	自治会はいくまでも自主運営組織であるものの、自治会が抱える課題を解決するためには、これまでとは異なる、一定程度の「攻め」の支援を行っていく必要があると考えています。 課題解決に向けて、現在、自治会を含めた地域コミュニティの負担を軽減すること、地域コミュニティ活動の魅力を向上させることの2点に焦点を絞り、自治会と行政が足並みをそろえて改革を進めることを目指し、他市町村の事例研究のほか、庁内での協議・検討、自治会関係者との協議・検討を進めています。	つながり推進課
7月16日	・高等町第1自治会の区域内に、「みどりの広場4号」がある。 ・区域内の緑の広場の中で一番古く、以前から自治会で維持管理をしており、広場の平面部を年2回、草刈り・清掃を実施している。 ・広場の東側にある法面については、公園管理事務所が実施していたのだが、今年から、全てのエリアを自治会で実施してほしいとの連絡があった。 ・法面は急角度で怪我の危険性もあり、何とか市で対応してくれないかと伝えたところ、緑の広場は自治会が管理することを前提に市が民地を借りて、地域に広場として開放しているので、自治会で対応が難しいなら指定を解除すると言われた。 ・総合計画の説明の中で、人口密度が高いとあったが、貴重な緑を市と地域が協力して保全していくべきではないか。	(4)既に対応済みのもの		みどり公園課
7月16日	・リサイクルステーションの担当を雨の日も風の日も25年間続けている。環境管理センターからもらった持ち去り禁止やポイ捨ての看板を、自治会区域の8カ所に取り付けることもしている。 ・人手不足で4カ所担当しているが月4000円の手当では割に合わない。 ・処遇の改善、戸別回収など、地域の負担軽減を図ってほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		資源循環推進課
7月16日	・国道467号線は歩道の拡幅整備が進んでいるので、背もたれ付きの椅子、ちょっとした花壇を設置してほしい。	(6)市の所管でないもの	厚木土木事務所東部センターへ要望をお伝えします。	まちづくり総務課
7月16日	・いちょう団地から駅に向かう神奈中バスは運賃が200円以上かかる。 ・高齢化が進み運転免許証を自主返納する方も増えてきているので、市が補助する形で運賃をコミュニティバスと同じ100円にしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		人生100年推進課
7月16日	・デジタル商品券について、紙でも対応してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		産業活性課
7月16日	・自治会の催事で小学校体育館を借りたのだが、暑すぎて催事を中止した。 ・夏場は窓を開けても熱風が吹き込む危険な暑さであるため、避難生活施設となる学校体育館に空調を整備してほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		教育総務課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月16日	・ 防犯カメラの設置が進んでいるが、私の家の周辺には設置されていない。 ・ 自治会長を通じて要望を出したが何の変化もない。 ・ 防犯カメラの設置について、今後どのように考えているのか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		市民生活あんぜん課
7月16日	・ 国道4 6 7号線に関して、歩道拡幅工事が止まっている箇所がある。 ・ 拡幅工事の進捗についてお聞きたい。	(6)市の所管でないもの	工事の進捗・予定については、厚木土木事務所東部センターへ確認します。	まちづくり総務課
7月16日	・ 高座渋谷のイオン大和店の立体駐車場出入口がある北側道路は、横断歩道、一時停止などの路面標示が薄くて見えず、藤沢街道旧道との交差点で事故が多い。 ・ 市内には他にも同じように路面標示が見えない場所がある。 ・ 一部警察の所管だと承知しているが、歩行者の安全のために対処してほしい。	(6)市の所管でないもの	横断歩道と一時停止などの路面標示は、警察の所管になるため、所管課を通じて警察に要望をお伝えしました。	市民生活あんぜん課
		(1)実現を目指し検討しているもの		道路整備課
7月16日	・ 障がい福祉課の窓口について、平日のみ開いているので、仕事を休まないと利用できない。土日に窓口を開けることは可能か。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	現在、窓口業務のＤＸ化を推し進めており、来庁しなくてもできる手続を増やしています。ＤＸ化の進捗や他市の土日開庁の状況等を考慮しながら検討していきます。	政策総務課 障がい福祉課
7月16日	・ 利用している地域活動支援センターは下の階が民間の店舗で、歩く音に関する苦情が届くと職員から聞いたので、地域活動支援センターに予算をもっと割いて、周りに迷惑がかからない場所に移転するなど対応してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	地域活動支援センター運営業務委託において、開設場所は受託事業者が選定するものとしており、市が開設場所について直接指示することはできません。地域活動支援センターを利用されるかたが安心して来所できるよう、利用者の声に耳を傾け、その気持ちに寄り添った対応ができるよう、市と受託事業者との連携を密にしていきます。	障がい福祉課
7月16日	・ タウンミーティングについて、土日や夜間に開催して若い世代が参加できるようにしていただきたい。	(4)既に対応済みのもの	令和6年度はタウンミーティングを2 0回開催し、そのうち土日は6回、夜間（1 7時以降に開始）は4回でした。令和7年度も土日、夜間にも開催する予定です。	マーケティング課
7月16日	・ 下和田コミセンから国道4 6 7号線に続く道（緑橋山谷線）について、コミセンから西側の区間の歩道がとても狭い。 ・ 歩道の内側に電柱が立っている箇所は特に狭く、通学路に使われていることもあり、歩行者の安全のためにも歩道を拡幅してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		道路整備課
7月16日	・ ゆとりの森テニスコートを利用するには、ネット予約して使用する前に利用料を支払っており、キャンセルする場合、後日返金の手続きが必要となる。 ・ スポーツ施設全般について、海老名市や厚木市と同じように、ネットで予約して利用時に支払う形にしてほしい。 ・ 当日キャンセルの問題もあるが、海老名市や厚木市はそれを防ぐためにペナルティを科しており、同様の対応は可能と考える。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	本市では、スポーツ施設利用時の入金について、支払日と利用日を同日にすることによるメリットがあることは承知していますが、その反面、当日キャンセルにより他の利用を希望するかたの利用の機会を損なうことが大きな課題であると捉えています。 これらを踏まえ、本市としましては、市民の皆様が、限られたスポーツ施設を最大限ご利用いただけるよう管理・運営を行う観点から、支払期限を利用日の5日前と定め、その時点で入金のなかった予約を自動キャンセル扱いとし、翌日以降窓口による随時予約で受付を行うことにより施設利用希望者の利用の機会を確保する形での管理・運営を行っています。	スポーツ×ライフ課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月16日	・ 学校体育館の空調設置について、なぜ中学校を優先するのか。	(1)実現を目指し検討しているもの		教育総務課
7月18日	・ この辺り（桜丘コミセン大和市上和田860-1）は市街化調整区域で農地が多いが、世代交代と共に農業生産者は減少している状況である。 ・ 大和市役所本庁舎が50年、大和市立病院が30年と、大和市の公共施設は建築からかなりの時間が経過しており、耐震、免震、DXなどを推進するためにも、この辺りの市街化調整区域にまとめて新築してどうか。 ・ また、そのような公共施設を集約した敷地の中に、藤沢の「わいわい市」のよう	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	【本庁舎について】 厳しい財政状況が続く中、市役所本庁舎については、安全性向上や有効活用の面から、老朽化した設備の改修を行い、施設の長寿命化を図っていきます。	管財課
		(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		総合政策課
7月18日	市街化調整区域（久田地域）に下水を整備してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	市街化調整区域は、市街化の抑制地域で、公共下水道整備は原則として行っていません。また、下水道整備には、二つの課題があります。①将来、市街化区域に編入する際、土地区画整理事業などの面的な街づくりが想定され、管路の先行整備は移設が発生し、二重投資になる可能性があります。②市街化調整区域には都市計画税が賦課されていませんが、市街化区域では都市計画税を賦課し、財源の一部を下水道整備に充てています。都市計画税を納税している市街化区域住民との負担の均衡を図る必要があります。市街化調整区域で下水道事業を行うには、これらの課題を整理する必要があり、現時点での実施の目途は立っていません。	下水道・河川施設課
7月18日	・ 大和駅周辺の物流の分断、市役所周辺の国道246号線を挟んだ物流の分断、などの解消も視野に入れたまちづくりを進め、産業を活性化させてほしい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課
7月18日	・ 宮久保野球場、宮久保スポーツ広場について、人工芝化してほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	本市の現状においては、限られた財政状況の中で市内に数多くあるスポーツ施設の維持管理・運営等に努めており、当該施設の人工芝化の計画はありませんが、頂いたご意見は今後のスポーツ行政の参考といたします。	スポーツ×ライフ課
7月18日	・ 県道45号線は拡幅工事中であるが、旧小林酒店前の交差点は児童と車の接触事故が発生しているので、完成を待つのではなく、今すぐに歩車分離式の信号機を設置してほしい。	(6)市の所管でないもの	信号機を含めて県が整備事業を継続中であるため、厚木土木事務所東部センターへ要望をお伝えします。	まちづくり総務課
		(6)市の所管でないもの	大和警察署に要望を伝えました。	市民生活あんぜん課
7月18日	・ 中学校の部活動について、先生方の働き方改革という側面は承知しているが、顧問が居ないために廃部、休止ということが多くなっている。 ・ 子どもたちが選べるスポーツを増やすため、外部顧問などの対応を早急に進めてもらいたい。	(4)既に対応済みのもの	令和6年6月に、部活動の段階的な地域移行（現在は地域展開）を行うことを目的に、大和市部活動地域移行推進協議会を立ち上げて、部活動指導員を導入しました。部活動の教育的意義を理解した人材の確保（育成）の観点から、段階的に人数を増やしていく方針です。	指導室

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月18日	・ 市内各地域で行われている「ふれあい広場」について、どこの自治会も高齢化が進み、本来の主旨からかけ離れている状況なので、市が主催者として助言等を行って、主旨に沿った形にしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	自治会を含めた各地区の高齢化や担い手不足等の課題はふれあい広場のみならず挙げられますが、各地区の特色を活かした催し物を開催することで親子、地域のふれあいを促進するという目的が達成されと考えられ、引き続き、その手法等についてはより良い方法がないか模索していきます。	こども青少年みらい課
7月18日	・ このままだと自治会が消滅してしまうという心配から、タウンミーティングに参加した。 ・ 自治会だけでなく、民生委員など他の役について、何度もお願いにあがっても引き受けてもらえない。 ・ 災害時など地域で乗り越えなければならない場合に、自治会が無い状況は考えられないので何とかしてほしい、	(1)実現を目指し検討しているもの	自治会加入率の低下など、さまざまな課題が自治会に生じていることを承知しています。課題解決に向けて、現在、自治会を含めた地域コミュニティの負担を軽減すること、地域コミュニティ活動の魅力を向上させることの2点に焦点を絞り、自治会と行政が足並みをそろえて改革を進めることを目指し、他市町村の事例研究のほか、庁内での協議・検討、自治会関係者との協議・検討を進めています。	つながり推進課
7月18日	・ 地域活動の担い手不足は深刻であるが、ボランティアをやってくれる人はいるので、人材バンクのような形で市が取りまとめ、ボランティアを養成してはどうか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	随時「やまとボランティア総合案内所」でボランティア登録を実施しており、「出張！ボランティア総合案内所」の開催や、ボランティア情報のメールマガジン発信などの機会により年代問わず情報提供しています。	つながり推進課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月18日	・先日、新聞に夏休み期間の食費が高つくから「夏休みはいらない」という記事が掲載されていた。こういうことは声を上げにくいので、大和市として実態調査を行ってはどうか。 ・「子どもが将来に希望を持てるまち」を実現するためには、市がケアしていくことが大事だと思う。 ・ヤングケアラーの問題も、今後、市としてどのように対応していくのか。 ・相談体制についてもしっかりやってもらいたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		こども総務課
		(4)既に対応済みのもの	市では、ヤングケアラーの意識啓発のため、市内全ての小中学校等でのポスター掲示やリーフレットの配布、子どもに関わる関係機関への周知を行っているほか、市ホームページにおいてヤングケアラーに関する情報やすすく子育て課などの相談窓口の情報提供を行っています。 令和6年度に開始した子育て世帯訪問支援事業では、家事・育児ヘルパーを派遣する対象にヤングケアラーも位置付け、支援サービスの提供を始めました。 令和7年度からは市内の小中学校・教育委員会と連携し、子どもの気づきを促しつつ見守りや相談につなげるためのアンケート調査を行います。 ヤングケアラーを含め様々な問題を抱える家庭への支援について、今後も教育委員会や関係機関等と連携しながら適切な対応に努めます。	すすく子育て課
		(4)既に対応済みのもの	小学校へは教育相談員（市費）を1.5日/週で配置しています。中学校については、スクールカウンセラー（県費）を重点校7校には2日/週、残り2校には1日/週で配置しているほか、3校にスクールソーシャルワーカーを1日/週配置しています。 相談室としては、青少年心理カウンセラーを4名、スクールソーシャルワーカー3名を雇用し、室での相談業務他、市内小中学校の要請を受け、学校へも訪問し対応しています。	指導室
7月18日	・健康都市大学は、外出のきっかけとなっていることと、講義の会場で新たな出会いがあったことがとてもよかった。 ・高齢の方を中心に講師も受講者も非常に為になる事業で評価できるものだったが、取り止めた理由と今後の対策についてお聞きしたい。	(4)既に対応済みのもの	平成31年度から令和5年度まで開講していた健康都市大学は、シリウスを市民の皆様の「居場所」として定着させるという目的に対して、一定の成果を挙げたと捉えています。 一方で、指定管理者と市が同様の事業を重複して実施している、特定の人しか受講しない等の課題も見つかったことから、事業の見直しを行い「生涯学習を始めるきっかけづくり」を新しい事業の方針として決めました。 その方針のもと、令和6年7月からシリウス4階健康テラスで「ここから マナ☆スタ」を定期開催しています。	図書・学び交流課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月18日	・ 放課後子ども教室は指導室、放課後児童クラブはこども・青少年課と所管が別になっているため、それぞれの子どもたちが交わって遊ぶことができない。 ・ 子どもたちは純粋にお友達と遊びたいだけで声をかけるがダメと言われてしまう。 ・ 何かあった時の責任問題であることは理解するが、大人の事情で遊べない。 ・ 子どもの気持ちを優先して、縦割りではなく横断的な対応ができないか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	今後も子どもが、安全・安心に遊び過ごすことができるよう、各所管と連携に努めます。	こども青少年みらい課
		(1)実現を目指し検討しているもの		指導室
7月18日	・ 引地川の福田橋でPFASが検出されたことを大変心配しており、特に古くからお住まいで自宅に井戸がある方は不安を抱いている。 ・ 井戸のある方で敷地の一部を家庭菜園に貸出している場合、井戸水を使ってよいものか心配している。	(4)既に対応済みのもの	市内は水道が普及しており、水道水は神奈川県が厳しい管理を行い、安全性を確認しています。安心して使用できる水道水の使用を推奨しています。	環境・公害対策課
7月18日	・ 引地台公園内の樹木について、一部伐採されて木陰が減少している場所があり、このまま伐採が進むのか心配している声がある。 ・ 専門家が伐採の判断をしていると思うが、伐採する場合は植樹して樹木を減らさないようにしてほしい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	公園管理のための参考とさせていただきます。	みどり公園課
7月18日	・ 総合計画について、骨子案の中で目標があるが、具体的な達成度を数値等で評価していくべきと考える。目標に対して、各分野の施策をどのように実施したのか、わかりやすく説明できるようにしてもらいたい。これをやってよかったと判断できるものであるべきで、例えば、シリウスの入館者数だけでは、その中身の評価にはならないのではないか。 ・ 市のホームページで公開されていた現地現場広聴活動の意見の中に、シリウスの絵本が充実しているから市外から訪れたという声もあり、図書館であれば蔵書の中身など、役に立っているかどうかで判断するとよいと思う。施策や各事業については、徹底して実施してほしい。 ・ 例えば、条例で路上喫煙や歩きスマホは禁止されているが、現状では野放し状態で誰も注意することもなく、せっかくルール化したのだから市民全体で守ろうという空気にしてほしい。 ・ 前市長時代のマスク条例がどうなったのか、ふれあいの森できれいに咲いていた芝桜や薔薇がなくなっていることなど、最初だけで継続性がないという状態は無くしてもらいたい。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの	総合計画の達成度は、施策ごとに定めた指標等を踏まえながら評価していきます。	総合政策課
7月18日	・ 災害が少なく、交通利便性が高いというのは、皆さんの見解と一致する。 ・ 説明があったとおり、北のまち、中央のまち、南のまちと、それぞれの特徴を生かした発展を遂げていると思うが、核になるものが必要だと考える。 ・ 横浜市、海老名市、町田市、藤沢市には主要駅を中心に核となるまちが形成されているが、大和市にはそれが無い。 ・ 大和市の核となるまちを生み出すには、大和駅周辺の再開発、中央森林地区の開発しかないのではないかとと思うので、ぜひ長い目で検討いただきたい。	(1)実現を目指し検討しているもの		まちづくり総務課 まちづくり推進課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。

令和6年度市民と市長のタウンミーティング 提案に対する対応状況

開催日	いただいた意見・提案	意見・提案に対する対応	市の方針・考え方	回答課
7月18日	・ 総合計画は10年間で、古谷田市長が3期続けることを前提としているようだが、もっと具体的な事業レベルの計画も策定するべきではないか。 ・ 進行管理においては、具体的な数値を指標にして、市民に分かりやすく目標の達成度を示してほしい。	(4)既に対応済みのもの	具体的な事業については、各分野で定める個別計画において取り組んでいくこととしています。	総合政策課
7月18日	・ 皆さんの意見を聴いていると、終の棲家としての大和市、ベッドタウン思考を感じるが、自分の子や孫、若い世代に目を向けるべきである。 ・ 北海道や九州のような大規模半導体工場は無理だが、大学の研究室やベンチャー企業を誘致して、市債を発行して資金援助をするなど、働く場や新たな産業を生み出す大和市を考えてはどうか。	(2)現時点では対応できないが、市政運営の参考とするもの		総合政策課
		(1)実現を目指し検討しているもの	現在、税収増加や雇用拡大のため、新規立地に関する優遇措置である奨励金制度を整え、企業誘致に取り組んでいるところですが、更なる企業誘致の実現に向けて、奨励金制度の対象業種拡大や支援内容の充実などを検討し、様々な企業が本市に進出しやすい環境づくりに引き続き努めていきます。	産業活性課

※ 頂いた提案・意見で、特定の個人、案件等に限定されたものは、掲載していません。

※ 「市の方針・考え方」は、特に説明、補足が必要な場合に限り、記載しています。